



# Junior Red Cross Hand Book

中学生  
青少年赤十字ハンドブック



ちかひ  
わたくしは  
青少年赤十字の員として  
心身を強健にし  
人のためと郷土社会のため  
国家と世界のために  
つくすことをちかひます



青少年赤十字は、誰の心にもある苦しむ人を見たら何とかしなくてはならないという気持ちを素直に行動に移す「赤十字」の人道の心を大切にし、ひとびとの幸せや世界の平和のためにつくせる人間になるよう努力することを目的としています。

## 目次

### 第1章 青少年赤十字

- 04 「青少年赤十字」ってなんだろう？
- 05 「三つの実践目標」って何？
- 06 「青少年赤十字」はどのようにして生まれたの？
- 08 青少年赤十字Q&A

### 第2章 赤十字

#### I. 国際赤十字

- 12 赤十字の誕生
- 17 国際赤十字のしくみ
- 19 赤十字の基本原則
- 21 ジュネーブ諸条約(赤十字条約)
- 23 「赤十字マーク」の本当の意味
- 26 赤十字の国際協力

#### II. 日本赤十字社

- 32 日本赤十字社の歴史
- 35 日本赤十字社のしくみ
- 36 日本赤十字社の活動

### 第3章 青少年赤十字の活動

- 42 気づき、考え、実行する
- 44 健康・安全
- 46 奉仕
- 48 国際理解・親善

### 第4章 資料編

#### I. 資料

- 52 話し合いの方法
- 56 青少年赤十字 健康安全プログラム
- 61 とともに生きるために
  - 61 高齢者への支援の仕方
  - 62 車いすを使用している人への支援の仕方
  - 64 障がいのある人への支援
  - 66 手話
  - 68 点字
- 71 楽しい歌
- 73 レクリエーション

#### II. 付録

- 75 年表
- 78 世界の赤十字社・赤新月社
- 80 使ってほしい青少年赤十字の資料・目録
- 84 本社・支部所在地一覧



## 第 1 章 青少年赤十字

## 「青少年赤十字」ってなんだろう？

「私たち青少年赤十字のメンバーも、  
赤十字のマークをつけて世界中で活躍している  
人々と同じように赤十字の一員なんだ！」

だれの心の中にも、困っている人や苦しんでいる人を見たら何とかしなくてははいけないという気持ちがこみあげてきます。この気持ちを素直に実行したのが「赤十字」のはじまりでした。ですから、赤十字の人道の心とは特別なものではありません。だれの心の中にもあるものなのです。この赤十字の人道の心を大切にして活動するのが私たちの青少年赤十字です。



「あなたの学校でたったひとりで苦しんでいる友だちはいませんか。」

青少年赤十字のメンバーは、一人ひとりが赤十字の人道の心を大切にし、人類の幸せや世界の平和のためにつくせるよう、よりよき人間になるように努めることが目的ですから、学校のみならず地域の人々が幸せになれるように努めます。まず、家庭、クラス、学校の中や町などを注意深く見わたしてみましよう。何か気がついたことはありませんか。自分にできることはありませんか。



## 「三つの実践目標」って何？

### 1. 生命と健康を大切にする。〈健康・安全〉

人間の生命は最も大事なものです。その生命を守るために、自分の健康を大切にするとともに、みんなの健康を守ることを目指します。



### 2. 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する。〈奉仕〉

わたしたちはたったひとりで生きているのではなく社会の一員として生きています。自分が今、他の人のために何ができるのかを考え、できることから実行していきます。



### 3. 広く世界の青少年を知り、なかよく助け合う精神を養う。〈国際理解・親善〉

わたしたちは社会の一員として生きています。また、いつも世界の国々とのつながりの中で生活しています。ですから、外国の人やその国のことについて正しく理解し、交流を深めることはたいへん重要なことです。

それは自分自身を知ることにもつながります。



## 「青少年赤十字」はどのようにして生まれたの？

### 第一次世界大戦の時、カナダ・アメリカ・オーストラリアの生徒たちによって

青少年赤十字(JRC=Junior Red Crossの略)は、実際の活動の経験から生まれてきたものです。

第一次世界大戦の時(1914年—1918年)、カナダ、アメリカ、オーストラリアの学校の生徒と先生は、ヨーロッパの戦場となった国々の少女や傷病者をなぐさめ、励ますために、学校で作った作品をこれらの人々に送りました。このとき、品物を送ることを赤十字に依頼しました。

学校には文房具を、クリスマスがきてもゆっくりと祝うことができない人のためにはクリスマスカードを、傷病者のためには下着や副木を、回復期にある人のためにはつえを、さらにこうした人々のほかに多くの人になぐさめや励ましの手紙を書いて送りました。

先生や生徒たちは、これらの品々を戦場となったヨーロッパの町や村へ送るには、世界に広がる赤十字を通じて送るのが一番よいと考えたのです。

### 学校の生徒と先生の願いが赤十字の願いと一致して

赤十字は、戦場で苦しむ人々に心のやすらぎを与え、こうした人々を側面から援助する学校の生徒や先生たちの活動に賛同しました。そしてかれらの願いを受け入れ、これらの品々を赤十字を通じて送りました。これがきっかけとなって青少年赤十字が生まれたのです。





## 赤十字社連盟の誕生とともに

第一次世界大戦が終わったあと、各国赤十字社の連絡調整機関として平時活動を中心とする赤十字社連盟(現在の国際赤十字・赤新月社連盟)が生まれました。そして、赤十字社連盟では、こうした戦争中の青少年による活動の経験をもとに、みなさんのような若い人たちが赤十字を理解し、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日ごろから望ましい人格と精神を自分でつくり上げてほしいと考え、各国の赤十字社に青少年赤十字をつくるよう勧めたのです。時に1922年(大正11年)のことでした。日本でもこの年、初めて滋賀県の守山尋常高等小学校に青少年赤十字が誕生しました。

このように、青少年赤十字は学校の生徒や先生の願いと赤十字の願いとが一致した結果、できあがったものといえるでしょう。

みなさんは、赤十字が理想としている考え方や、世界のほとんどの国に広がっている組織とその機能、あるいはそこで開発された技術を学びそれを青少年赤十字活動を通じて実際に体験し、世界中にいる数多くの仲間と交流することができます。

日本の青少年赤十字は、全国で約14,000<sup>(※)</sup>校の幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等が加盟しており、340<sup>(※)</sup>万人を超える仲間がみなさんと同じように学校を基盤として活躍しています。

※2024年3月31日現在



## 青少年赤十字Q&A

**Q** JRCというのは何の略ですか？

**A** JRCとはJunior Red Crossの略で、世界共通の呼び方です。RCY (Red Cross Youthの略)と呼ぶ国や、年齢によってJRCとRCYの両方を使う国もあります。また、カデット、ピオニエリなどの独自の呼び方をしている国もあります。

日本では、「青少年赤十字」という名称を使うことにしています。JRCと呼ぶ人も多いのですが、知らない人には何のことかわかりません。青少年赤十字をより多くの人に知ってもらうためにも、「青少年赤十字」と呼んだほうが良いでしょう。

**Q** 集まりのときに「ちかい」を言うのはなぜですか？

**A** 「ちかい」の書き出しをもう一度読んでみてください。「わたくしは」となっていますね。これは、「わたしたち」「みんな」ではなく、一人一人が自分で考え、自分の意志で青少年赤十字に参加し、行動するという意味を持っています。

「ちかい」を言うのは、みなさん一人一人が「私は自分の意志で青少年赤十字に参加します」という気持ちを確認するために行うのです。

**Q** 世界で困っている人はどのくらいいますか？

**A** 世界には困っている人がたくさんいる。そう言われても、今ひとつよくわからない人もいるかもしれません。「世界で困っている人」と言っても、その理由も程度もさまざまですし、ひとくちに「何万人の人が困っています」というのはとても難しいことです。

一つの目安として、国際機関の統計を見てみましょう。UNHCR(国連難

## 青少年赤十字メンバーのみなさんがよく疑問に思う点についてお答えします。

民高等弁務官事務所)によると、紛争や災害により住んでいるところを離れている難民、国内避難民等は約1億人<sup>(※1)</sup>います。開発途上国では栄養が不足している子どもが多く、5歳になる前に死んでしまう子どもは世界全体で一年間に約490万人<sup>(※2)</sup>です。同じく5歳未満の子どもの死亡率の世界平均は1,000人あたり38人ですが、115人が命を落とす国もあります<sup>(※3)</sup>。

※1 : UNHCR 2023 "Global Trends 2022"p2

※2 : UNICEF 2024"Levels & Trends in Child Mortality 2023"p5

※3 : UNICEF 2023「世界子供白書 2023」p46-49

**Q** 困っている人のために私たちには何ができますか？募金のほかに何かできることはありますか？

**A** この地球上に困っている人がいる。何とかしてあげたい。その気持ちはすばらしいことです。そうした気持ちに動かされて、募金を呼びかけたり、お金を出したりしたことのある人もいるでしょう。でも、それだけでは何か物足りない……という想いを抱いた人もいるかもしれません。

まず今世界で起こっていることを「知る事」が大切です。

戦争や紛争で多くの人が命を落としている国があります。肉親を殺された子どもや住むところを追われ難民となった人がいます。遊びに行った野原で地雷のために命を落とす子ども、手足を失う子どもがいます。戦争が終わっても、社会が混乱してお金や食べるもの、住むところがなかったり、学校に通えなかったりします。

また、戦争がなくても、地震や洪水などの災害で多くの人命が失われ、人々の生活が破壊されている国があります。きれいな食べ物や水が手に入らないために、病気になって死んでしまう子どもがいます。豊かで平和な日本に住んでいると、信じられないような厳しい環境にいる人々がいるのです。

同じ地球に生きる仲間として、世界の国のこと、人々のことを知ることはとても大切です。幸い、日本に住んでいる皆さんは、さまざまな新聞や本、テレビなどで、世界の人々のことを知ることができます。パソコンが使えたら、インターネットからもたくさんの情報が得られます。世界の問題についてよく知っている大人にインタビューしてみるのもよい考えです。どこの国で、どんなことが起こっているのか、人々がなぜ苦しんでいるのか、日本とはどのようなかわりがあるのか……


新しいことを発見したら、それを友だちや同じ学校の人に伝えてみましょう。発表をしたり、校内放送で呼びかけたり、壁新聞やパンフレットを作ったりするのもいいでしょう。

こうした活動から、困っている人のことを真剣に考える人の輪が広がっていきます。みなさんの熱心な訴えが社会を動かす力になります。未来の世界を平和で明るいものにするのはみなさんだという気持ちを持ちつづけてください。

あなたは青少年赤十字のメンバーとして、どんな活動をしていますか。

あなたも、赤十字マークをつけて世界中で活動をしている仲間のひとりとして、自分に何ができるか、考えてみましょう。

このハンドブックは、あなたが青少年赤十字メンバーとして活動するときに役立つことを紹介しています。何か分からないことや調べたいことがあったら、このハンドブックを開いてみて下さい。

A large, light pink circle with a slightly irregular, hand-drawn edge, centered in the upper half of the page. Inside the circle, the text "Junior Red Cross Hand Book" is written in a white, serif font, stacked in four lines.

**Junior  
Red  
Cross  
Hand Book**

第2章 赤十字

# I. 国際赤十字

## 赤十字の誕生

赤十字の誕生については、今から約160年前のイタリアから始まります。



### イタリア統一戦争

1859年6月、当時のイタリアは統一戦争のさなかでした。イタリアはいくつかの国に分かれていましたが、その中のひとつ、サルディニア王国は、イタリアを統一したいと願い、フランスのナポレオン3世と連合して、当時のイタリア全土を支配していたオーストリアに対抗したのです。

フランス・サルディニア連合軍の兵士は15万人、一方のオーストリア軍は兵士17万人で、戦いはすでに一カ月におよんでいました。そして、イタリア統一戦争の中で最も激しく、しかも死傷者の数が最も多かったといわれる戦いが、イタリア北部の小さな村ソルフェリーノを中心として展開されました。

### ソルフェリーノの戦い

このソルフェリーノにほど近いカスティリオーネの町に、一人の若いスイス人を乗せた馬車が通りかかりました。このスイス人は、当時のフランス領アルジェリアで製粉会社を経営していました。その事業を拡張するために、ナポレオン3世から援助をしてもらいたいと思い、イタリアへ来たのでした。そして思いもかけず、ソルフェリーノの惨状を目にするさんじょうことになったのです。

ソルフェリーノの戦いは、残酷を極めたといわれています。30万人あまりの兵士が15時間にわたり戦いました。焼けるような暑さの中で銃弾・砲弾がとびかい多くの兵士が倒れていきました。軍刀や銃剣できり合い、負傷してさえ相手を傷つけようと抵抗します。

傷つき倒れた兵士たちは手当てを受けることもなくあちこちに放り出されています。負傷者に比べ、軍医や衛生兵の数が少なすぎました。また、自分の国の兵士しか手当しません。

そして、負傷者も再び占領されると襲われ、殺されます。倒れた兵士たちは助かる命をむざむざと失っていったのです。

このときのようにこのスイス人はのちに本の中で報告しています。「フランス軍の部隊は丸い丘をのぼり、オーストリア軍の銃火と砲弾や散弾の破片を浴びながら、けわしい高地や岩だらけの坂を猛然としてよじのぼっていく。

……どの丘も、高地も、岩のいただきも頑強な戦いの舞台になる。

丘もくぼ地も死がいの山である。

こちらでは、恐ろしい、ものすごい格闘が行なわれる。

オーストリア兵と連合軍の兵はたがいに踏みたおし、血みどろの死体の上で殺し合い、銃尾でなぐりあい、ともに頭の骨をくだき、軍刀や銃剣で腹をさき合う。なさけ容赦もあらばこそ、これはまさに大量殺りくの場であり、血に狂い、血に酔った猛獣の闘争である。

負傷者さえも息の根のとまるまで抵抗し、もう武器を持たないものは敵ののどをつかんで歯で食いさく。

他の戦線でも同じような格闘だが、騎兵隊の接近によってさらに恐ろしいことになる。騎兵は疾走して通りすぎ、馬は死んだ者も死に



かかっている者もひづめの下に踏みつぶす。

哀れな一人の負傷兵はあごをひっさらわれ、あるものは頭をつぶされ、またある負傷者は、まだ命の助かるものを胸を踏みくぼまされる。馬のいななきに、しかりつける声、どなる声、苦痛と絶望の叫び声がまじる。

さらに向こうのほうでは砲兵が全速力で走っていく。騎兵に続くのである。砲兵は、何でもかまわずに、地上に横たわっている死体と負傷者の中に道を開いていく。そのとき脳みそはふきだし、手足は折れ、くだかれ、体はだれがだれやらわからなくなり、大地は文字どおり血を吸い、野原は人間の破片でおおわれる。…」

(「ソルフェリーノの思い出」より)

### アンリー・デュナン

このような戦場に入りこんでしまった若いスイス人は、苦しむ兵士の姿があまりにも悲惨なため、胸がしめつけられるような思いで負傷した兵士のそばにかけよりさげびました。

「みな同じ人間どうしではないか。傷つき倒れて戦えない兵士に、敵も味方もない。同じ人間として助けよう」

この人こそ、現在、赤十字の父と呼ばれているアンリー・デュナン(Henry Dunant)なのでした。

デュナンは負傷兵を区別なく救護するために、村の人々に手助けを求めました。「みんな同じ人間どうし」というデュナンの訴えは、多くの人からの協力を集め、力を合わせて救護にあたりました。

三日三晩の間、デュナンたちは休むことも眠ることも許されませんでした。負傷して救いを求める兵士たちが次々とデュナンの前に運ばれてきます。わずか15時間に、4万人もの兵士が倒れていたのです。

看護のかいもなく息たえていく兵士たちが後を絶ちませんでした。ソルフェリーノで戦いに出会い、負傷兵の看護にあたったデュナンは、疲れきって故郷のスイス・ジュネーブに帰りました。ソルフェリーノでの出来事をデュナンは忘れることができません。

悪い夢でも見ているようです。人間どうしが、戦場では血に飢えた野獣のように、果てしなく殺し合いを続けたのです。このいまわしい光景がデュナンの頭からはなれません。そして、もっと残念に思えたことがあります。救助活動がまだまだ不十分だったことです。



## ソルフェリーノの 思い出

デュナンは、ソルフェリーノでの体験と自分の考えを、一冊の本にしようと考えました。本を書き上げ、自費で出版するまでに、3年の月日を費やしました。「ソルフェリーノの思い出」という題がついたこの本にはデュナンの考えがはっきりと述べられています。その中で、それまでになかったきわめて特徴のある意見が人々の心をうちました。

ひとつは「戦場で負傷した兵士を敵・味方の別なく救護するために、各国で民間の団体を前もって組織しておく」ということ。

もうひとつは「その団体が戦場で安全に活動できるように、国際的な取り決めを結ぶ」ということです。

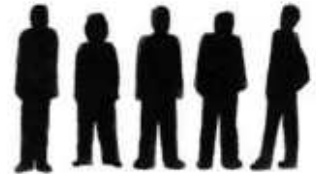
この具体的な提案が守られれば、ソルフェリーノのような犠牲を二度とくり返すことはない、とデュナンは考えたのです。

この本が出版されると、スイスだけでなくヨーロッパの各地で大きな反響を呼び起こしました。各国の著名な作家や国王はデュナンの提案に共鳴して、賛同の声や励ましの手紙を送ってきました。

## 五人委員会

ジュネーブでは、具体的な動きがでてきました。デュナンの提案を実現させるために「五人委員会」が設立されたのです。

委員はデュナンをはじめ  
ギュスターブ・モワニエ(法律家)  
アンリー・デュフル(将軍)  
ルイ・アッピア(医学博士)  
テオドル・モノワール(医学博士)



の5人で、いずれもジュネーブで有名な学識者でした。

## 赤十字の誕生

1863年2月17日、「五人委員会」は最初の会合を開きました。(この日は赤十字の誕生日とされました)

五人委員会は、デュナンの提案を研究し、準備を整え、最初の国際会議を1863年10月に開くまでにこぎつけました。ヨーロッパ16カ国の代表者をジュネーブに迎えたのでした。

代表者は、数日間にわたって五人委員会の提案を検討したすえに、10カ条の規約(赤十字規約)を作りました。それは「戦場で救護活動を行なう民間の団体を各国に作る」というものです。

また、デュナンをはじめ五人委員会の人たちの国、スイスに敬意をあらわして、スイス国旗の配色を逆にした「**白地に赤い十字**」を救護に働く人や施設につけて、保護するしるしとしたのです。

### ジュネーブ条約

この規約を実行するためには国家どうしの取り決めも必要でした。翌年、代表者が再びジュネーブに集まり、12カ国が条約を結びました。これを**ジュネーブ条約(赤十字条約)**といいます。

各国はこの条約で「**戦場で救護活動を行なう病院や看護人は中立であるので攻撃せずに保護すること**」「**負傷兵は敵・味方の別なく救護すること**」などを認め合いました。

デュナンの提案は、現実のものとなりました。そして、これまでにないこの考え方はやがて広く支持されるようになり、多くの国が参加するようになりました。

その後、条約にも様々な条項が追加され救護の対象が広がられました。また、赤十字も現在では戦場だけでなく、「**苦痛と死とに対して戦う**」ものとして、その活動対象を広げてきているのです。

### 人道

同じ人間どうしとして**苦しみをやわらげ生命と尊厳を守ろうとする「人道の原則」**こそ、赤十字の活動の基本です。

そして、この赤十字の原則がすべての人々の間に広がっていくことで、お互いの理解を深め、協力して平和な社会を築き上げていきたい、というのが赤十字の願いなのです。

## 国際赤十字のしくみ

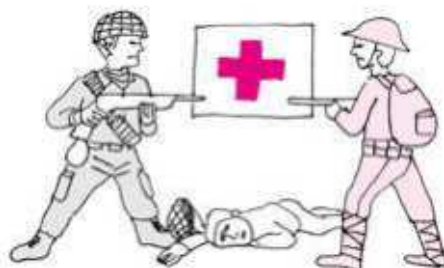
赤十字は、アンリー・デュナンの「みんな同じ人間どうし!」という気持ちから生まれ、それは世界中の人々の共感を生み、現在ではこの地球上のいたるところで活動する国際的な組織に発展しました。そして、赤十字は次の3つの機関(総称して「国際赤十字」といいます)により、その活動の役割分担をしています。

### 赤十字国際委員会(ICRC:International Committee of the Red Cross)

1863年、アンリー・デュナンの提案を実現するために創設された「五人委員会」が後に名称を変更したものです。

この委員会は戦時救護の中心機関で、新しく赤十字社を承認したり、ジュネーブ条約の改正の提案をしたり、戦争や紛争の際には、ジュネーブ条約が守られているかどうかを監視し、また、犠牲者を保護することなどを任務としています。

スイスのジュネーブに本部があり、方針を決定する委員会は今でもスイス人(15名以上25名以内)だけで構成されています。

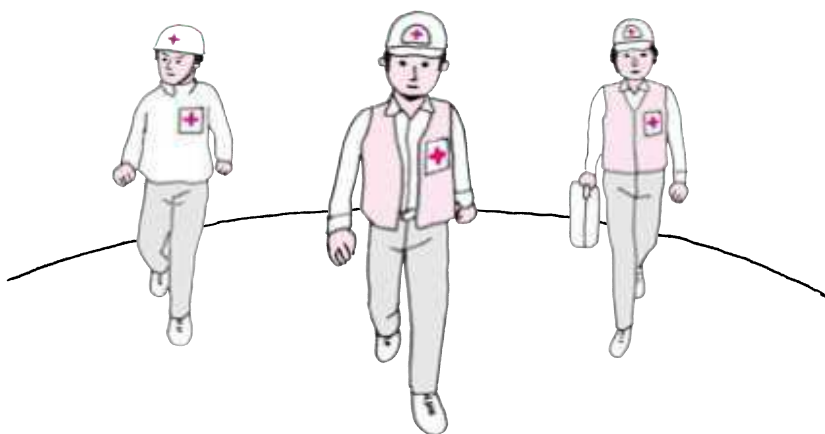


### 国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC:International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies)

赤十字は、もともと戦争による犠牲者を救うことを目的として設立されたものですが、第一次世界大戦後には、**平和な時代においても赤十字は人道的事業を推進するべきである**という考え方が生まれてきました。これに基づき、1919年、アメリカ・イギリス・フランス・イタリアおよび日本の5カ国が主唱して、各国赤十字社の連合体として「**赤十字社連盟**」が生まれ、のちに「国際赤十字・赤新月社連盟」と改称されました。

国際赤十字・赤新月社連盟は、赤十字国際委員会と同じジュネーブに本部があり、自然災害のときの救護活動や病気の予防活動をはじめ、各国の赤十字社の事業を援助するための連絡・調整や研究などを行っています。

この組織は、スイス人に限らず様々な国籍を持つ人で構成されており、日本人の職員もいます。(日本赤十字社も職員を派遣しています。)



### 各国赤十字社

世界の赤十字社(国によっては赤新月社)の数は、2024年4月現在、191を数えており、世界中のほぼ全ての独立国に設立されています。

赤十字社の設立が承認される基準は①その国がジュネーブ条約に加入していること、②1国に赤十字社は1社であること、③その国の政府から公的な救護団体として承認されていることなどです。

ちなみに、日本は1877年に博愛社として設立、1887年に赤十字社として承認されました。

(赤新月については25ページをご覧ください)



## 赤十字の基本原則

赤十字は、その誕生以来長い間、行動する上での原則を文章にしていませんでした。もちろん、アンリー・デュナンが敵味方なく救護した行為の中に、あるいはジュネーブ条約やさまざまな会議の中にその精神を見ることができます。絶え間なく起こる戦争や紛争に対して、休むことなく活動することが使命の赤十字は活動の中で原則を鍛えあげてきたのです。

そして、いろいろな議論ののち1965年第20回赤十字国際会議（ウィーン）において7つの「赤十字基本原則」が決議されたのです。

### 人 道 (Humanity)

赤十字は、戦場で傷ついた人を敵・味方で区別することなく助けたいという願いから生まれました。赤十字は、いつでも人間の苦しみをやわらげ生命と尊厳を守るために努力します。

赤十字は、世界の人々が互いに理解しあい、仲良く助け合って平和な世界をつくることに協力します。

### 公 平 (Impartiality)

赤十字は、国や民族、宗教などの違いによるどんな差別もしません。赤十字は、人々の苦しみをやわらげることだけに努め、最も苦しんでいる人から助けます。

### 中 立 (Neutrality)

赤十字は、いつでもみんなから信頼されるために、争いのときにはどちらの味方もしません。

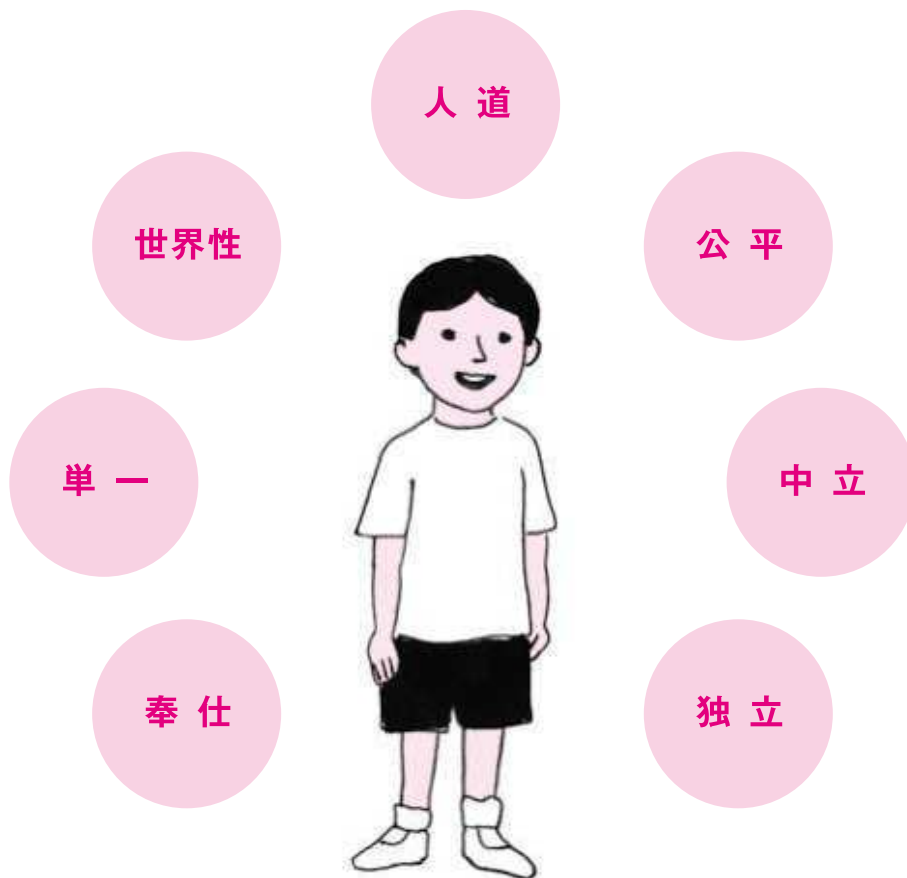
### 独 立 (Independence)

赤十字は、国の助け合いの活動に協力し、国の法律に従いますが、いつも赤十字の原則によって自主的に行動します。

**奉 仕**  
**(Voluntary Service)** 赤十字は、苦しんでいる人、困っている人たちのことを考えて行動し、それらの人々の支えになります。

**単 一**  
**(Unity)** どんな国にも、赤十字は一つしかありません。赤十字は、その国の全てにわたって活動します。

**世 界 性**  
**(Universality)** 赤十字は、世界中につながりを持っています。すべての赤十字は常に協力しあいます。



## ジュネーブ諸条約(赤十字条約)

ジュネーブ諸条約の成立については前述したとおりですが、戦争の中においても「**人が人として尊重され、取り扱われる**」ために作られた国際的な取決めのことです。

この条約は、アンリー・デュナンが提唱した「戦場で負傷した兵士を敵・味方の区別なく救護するための団体の設立と、その団体が戦場で安全に活動できるための国際的な取決めを作ろう」という考えに沿って、1864年に10カ条からなる最初のジュネーブ条約(次ページ参照)としてスタートしました。その時点では救護の対象を戦地の傷病兵としていましたが、その後の様々な戦争を経る中で、戦争の規模の拡大や戦闘方法の変化とともに、保護の対象を広げてゆき、現在では次のように4つの条約(1949年8月12日のジュネーブ諸条約)と3つの追加議定書にまとめられています。その主な内容は次のとおりです。

### ○陸戦の条約

これは他の条約の基本となるもので、戦地にいる傷病兵を敵・味方の区別なく救護します。

### ○海戦の条約

戦地の範囲を海上にも広げ、傷病兵・難船者を救護します。

### ○捕虜の条約

兵士が捕虜となった場合でも、その人を保護し人として尊重します。

### ○文民保護の条約

戦争中、戦闘に直接参加しない一般の市民を保護します。

### ○第1追加議定書

国際的武力紛争の犠牲者を保護します。

### ○第2追加議定書

非国際的武力紛争(内戦)の犠牲者を保護します。

### ○第3追加議定書

新たな標章について規定しています。

これらは戦争の犠牲者が、どんな状況であっても**敵・味方の区別なく「人として尊重され、取り扱われる」**ことを決めたものです。

また、ジュネーブ諸条約の持っている大切な特長として

1)ジュネーブ諸条約を結んだ国はそれを守らなくてはならないこと

- 2) 戦っている相手国が条約に違反した場合でも、自分達は条約を守ること
- 3) どのような状況でも「戦争の犠牲者の利益が自分たちの利益である」として考え、行動すること
- 4) ジュネーブ諸条約で決められた権利はどのような状況であっても守ること
- 5) 国内の紛争(内戦)においても適用されること

などが決められています。これらはどのような状況でも人々がジュネーブ諸条約によって守られることを意味しています。

赤十字は戦争そのものを容認しているのではないかという誤解がまれにあります。決してそうではありません。

戦争を心から望む人はいないと思います。しかし、この地球上では様々な対立・貧困・エゴ等が引き金となって多くの戦争・紛争が起こっています。赤十字はこのような現実を直視した上で「どのような状況でも人が人として尊重される」という理想を、人が殺し合う戦場の中でさえ実現しようとしてきたのです。

実際の世界では、ある理想がすぐに受け入れられ、守られるとは限りません。それが現実の厳しさでもあります。ですが赤十字は戦場のまっただ中でも救護活動ができる『安全・平和な地域・施設・人員』をジュネーブ諸条約で交戦国に認めさせ、その保護する人の範囲を現在でも広げる努力を行っているのです。

争いは国や人が起こします。赤十字は青少年赤十字活動を始めとする様々な活動を通して人と人との理解、思いやりを深め「人が人として尊重される世界」の実現を求めているのです。

赤十字は理想と現実の狭間で、理想を実現させようと奮闘しているのです。

### (参考)最初のジュネーブ条約10ヶ条

第1条 病院の中立

第2条 看護人の中立

第3条 占領された時の看護人の職務の保証

第4条 病院の器物は病院のもの

第5条 負傷者を保護する民家や個人

第6条 戦場においては、敵・味方の区別なく、傷病兵を看護する

第7条 「白地に赤十字を描いたもの」を中立の標識とする

第8条 条約の実施に関する細目は、その交戦軍の司令長官の責任において決める

第9条 各国に必ず一つの政府公認の篤志救恤協会とくしきゆうしゆつを作るように勧誘する

第10条 批准は4ヵ月以内にする必要がある



## 「赤十字マーク」の本当の意味

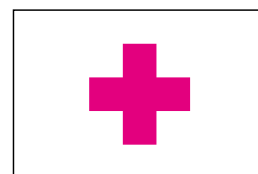
### あなたも知っている 赤十字マーク

世界の多くの人々にこのマークは知られています。しかし、残念なことにその本当の意味を知っている人は多くはありません。

**\*赤十字マークは正式には赤十字の標章(しるしのこと)といいます。**

### 誕生の経過

赤十字の誕生とともにできたこのマークは、赤十字の父であるスイス人のアンリー・デュナンと赤十字の発祥の地であるスイスの国に感謝と尊敬の気持ちを表すために、スイスの国旗(赤地に白十字)を逆さにして「白地に赤十字」になっています。



### 赤十字マークの 持っている意味

赤十字マークは2つの意味を持っています。

#### 1)〈保護〉

赤十字マークが持っているもとの意味は、戦争・紛争が起こった時に傷病者を保護するための、赤十字の関係者や施設を安全に保護するためのしるしです。

つまり戦争中でもこの赤十字マークを掲げている病院や救護員は絶対に攻撃してはいけないことを、このマークは表しています。

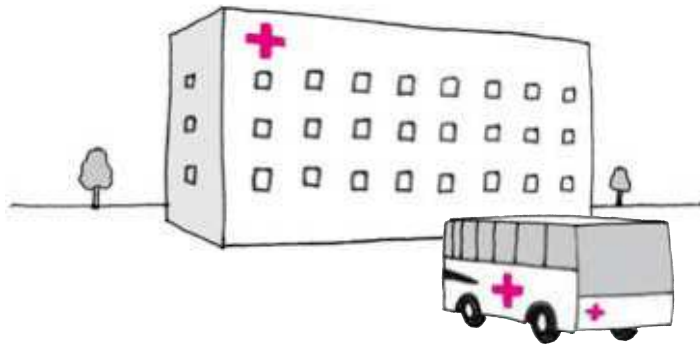
#### 2)〈表示〉

赤十字に関係のある物や施設、人を表します。これは学校のマーク



(校章)を皆さんが使っているのと同じです。

ですから、赤十字に関する物や施設、人でなければこのマークを使ってはいけません。



あなたが青少年赤十字メンバーとして、青少年赤十字のバッジを付けているのも、赤十字の一員であるからです。

### 役目を果たすための 約束

赤十字マークが、たとえば一般の病院・医療機関・薬局の印として広まってしまうと「万一の戦争や紛争などのとき」赤十字マークが「保護」のシンボルマークであることが人々にわからず、助ける人や傷ついた人々の安全が保てず、救うこともむずかしくなってしまいます。

ですから、ひとりでも多くの人々に赤十字マークの正しい意味を知らせることが、いざというとき大切な人間の命を救うことにつながります。

赤十字マークの持っている重要な意味を守るために、いくつかの約束ごとがあります。

1. 赤十字のマークや少し変えたものを勝手に使用することはできません。
2. 特別な場合を除いて、赤十字に関係のない人や建物は、このマークを使うことはできません。

3. ジュネーブ条約の目的にあったマークの使い方をしなければいけません。武器や兵士を運ぶために偽装して赤十字マークを使うことなどは固く禁じられています。

### もう一つの赤十字 =赤新月

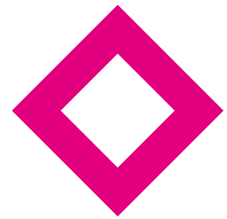
イスラム教の国の中には、歴史上の理由(十字軍の遠征)により「十字はキリスト教を連想させる」として赤十字マークの代わりに「赤新月」を使用しているところもあります。

形は異なりますがマークの意味、役割は赤十字マークと全く同じです。



### 新たなマーク 「レッドクリスタル (邦訳未定)」

2005年12月に開催された赤十字国際会議で、宗教や政治上の理由で上の2つのマークを使えない国のために、新しく「白地に赤いひし形」のマークを追加しました。マークの意味、役割は赤十字・赤新月マークと同じですが、表示の標章として使用する場合のみ、「レッドクリスタル」の中に独自の象徴的なマークを入れることができます。



### 人間の命を守るためのマーク

これであなたは赤十字のマークの本当の意味がわかったことと思います。赤十字マークを正しく理解し、使用し、その意味を広めることが赤十字とジュネーブ条約を正しく伝え「私たち一人ひとりの大切な命を戦争のときでも守る」ことになります。

### 赤十字の国際協力

#### 世界のように

世界の人口の約84%<sup>(※5)</sup>をしめる開発途上国と呼ばれる国々には戦争、国内紛争、貧困、飢餓、栄養不良、病気、自然災害など、人々の命を危険にさらす問題がたくさんあります。

これらについて赤十字は積極的に取り組み、人々の自立ができるように努めていますが、それがどのように進められているのか見てみましょう。

※5 : UNFPA 2024 "State of World Population2024"p146

#### 協力のしくみ

赤十字の活動は、戦時に中立の立場をとって人の命を守り苦痛をやらげらるための活動を行っている**赤十字国際委員会(ICRC)**や、平和なときに災害救護・健康と衛生の増進などの活動を進めてきた**国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)**、**各国赤十字(赤新月)社**の三つ(国際赤十字)がお互いに協力することによって行なわれています。

現在では、世界のほとんどの国に各国赤十字(赤新月)社が存在するため、赤十字のネットワークを生かして、その国の赤十字(赤新月)社が行なう国内活動を支援するというしくみで進められています。

その国の赤十字社が出した援助のアピール(要請)は、赤十字国際委員会や国際赤十字・赤新月社連盟が受け止め、これを各国の赤十字社にアピールして実際の援助内容を分担・調整していきます。

#### 協力の考え方

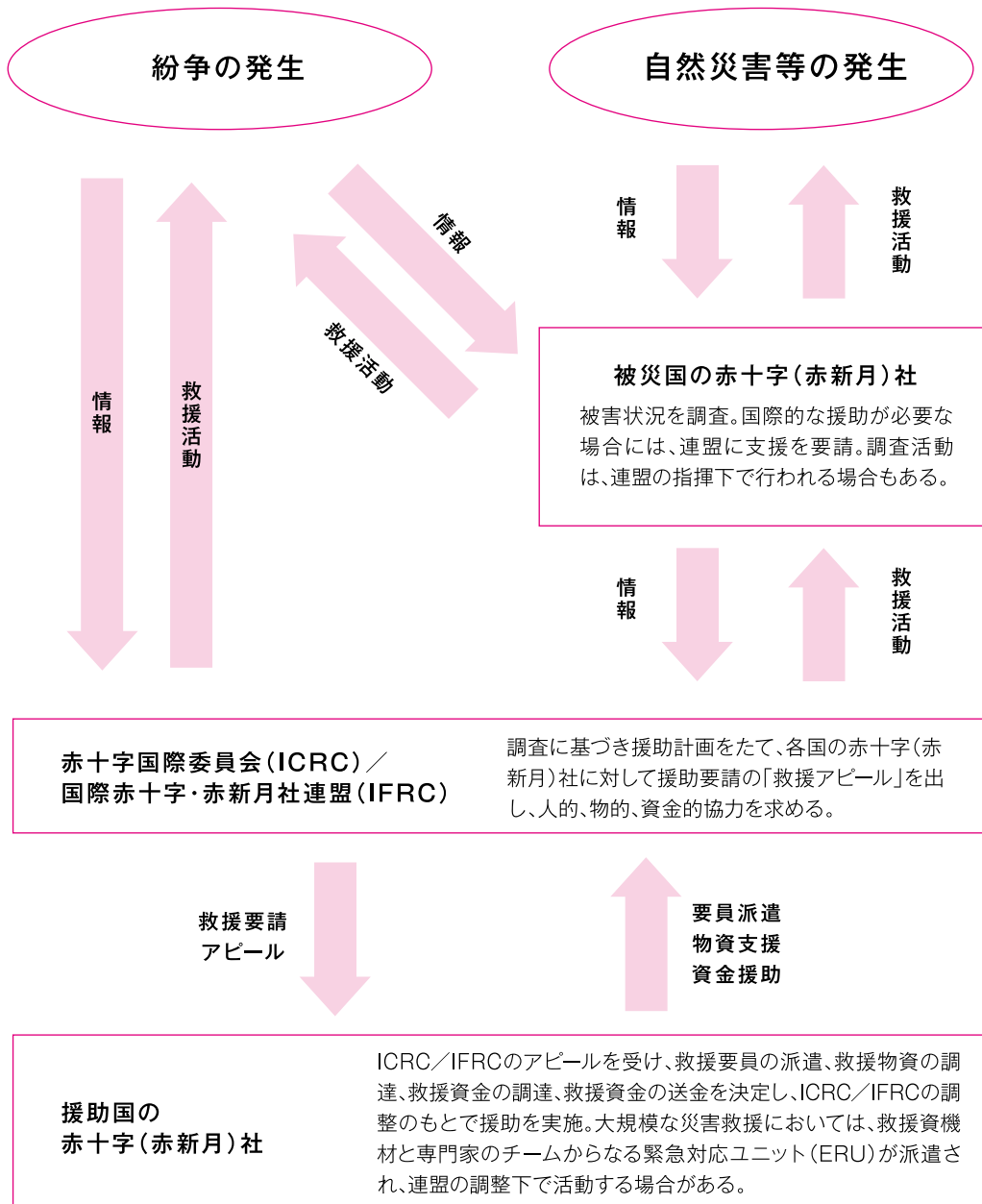
その国の人々の困っている情報は、その国の赤十字社が一番良く知っていますので、被災国の赤十字社のアピールに基づいて、人々が必要とするものを必要なだけ必要とするところに援助します。

赤十字の援助活動は、あらゆる状況のもとで人々の苦痛を予防し軽減するという、赤十字の「人道の原則」に基づいて行なわれています。

この活動を推し進めることが、私達の社会をより豊かにし、そして世界の平和につながるのです。

赤十字の援助活動の特徴をあげて、その内容を見てみましょう。

## 国際救援の流れ



## 国際協力の 内容



ウクライナのリハビリテーションセンターで支援調査にあたる日赤の理学療法士 ©日本赤十字社

### 武力紛争と赤十字

現在、世界では、中東やアフリカなどの国々で武力紛争が続いており、その犠牲者の多くが一般の市民(みなさんのような子どもや、女性、高齢者など)であるといわれています。紛争地における赤十字の活動は赤十字国際委員会(ICRC)が中心になって行っています。

たとえば、

- 1) 国内外の戦争・紛争で敵側に捕らえられた人々(捕虜<sup>ほりよ</sup>)を訪問し、彼らの生命を守り、身体の安全を見守っています。
- 2) 戦いが発生している地域に、緊急に救援物資を送り、医師・看護師などを派遣し、紛争の犠牲者を救援します。

例えば、日本赤十字社は2011年から続く中東人道危機、2017年にミャンマーからバングラデシュ南部に逃れた避難民、2022年から続くウクライナ人道危機で苦しむ人々の救援のため、医療スタッフを含む多くの職員を現地に派遣し、診療活動や安全な水の供給支援などを行ったりしています。

### 災害と赤十字

干ばつや地震、風水害、火山の噴火などの自然災害により被害を受けた人々に対して、必要な食糧・医薬品などの救援物資を送り、医師・看護師を派遣して医療活動を行います。

ネパールでは2015年に大地震が発生し、国民の5人に1人が被災するという甚大な被害がありました。日本赤十字社はいち早く医療

チームを派遣して救援活動を実施し、その後はネパール赤十字社と協力して被害にあった家屋や地域の診療所、学校、水供給設備の再建など幅広い復興支援を実施しました。2023年にアフガニスタンで地震が発生した際にも資金援助や支援要員の派遣などの救援活動を行いました。



赤十字の支援を受けている女性世帯主と会話をする日赤の看護師 ©IFRC



災害リスクマップを作成する村人たち ©日本赤十字社

災害多発国のインドネシアでは、災害に強い地域づくりを目指して、赤十字のボランティアが中心となって、防災訓練の実施、防災活動を継続するための村のルールづくり、世帯訪問を通じた防災知識の普及活動等を展開しています。

また、ルワンダでは、特に経済的に貧しい南部の地域において、気候変動の影響と考えられる災害や感染症、貧困などの社会課題に対して、コミュニティの人々のレジリエンス(立ち向かう力、回復する力)を高める活動を実施しています。



給水施設を利用する人々 ©日本赤十字社



心理社会的支援の活動に参加する避難民の女の子たちと会話する日赤要員 ©日本赤十字社

### 保健・衛生と赤十字

人々をケガや病気から守るのは、赤十字の重要な使命の一つです。東ティモールやラオスなどでは、日本赤十字社が日本国内で培ったノウハウを活用して、救急法(ケガや病気の予防や応急手当、一次救命処置)の講習会の開催を支援しています。

東アフリカ地域の国々の赤十字社は、住民が中心となって行う感染症の予防・啓発などの地域保健活動を展開しています。その活動の一環として効果を上げているのがモバイルシネマ(移動映画館)です。娯楽の少ない場所で手洗いの方法などを紹介したアニメ映画を上映し、楽しみながら村人たちが正しい衛生知識を身につけるための工夫がされています。

また、全世界のHIV感染者のうち過半数が集中している南部アフリカ地域の赤十字社は、貧困層への食糧支援やHIV予防啓発活動、治療薬の提供、奨学金の支援などを行いました。これらの活動は、HIV感染者の回復率の向上や栄養状態の改善、子どもたちの学業の継続に貢献しています。

感染症の予防教育、救急法の普及、出産するお母さんと子どものケアなど、赤十字の国際的なネットワークを生かした様々な活動を行っています。



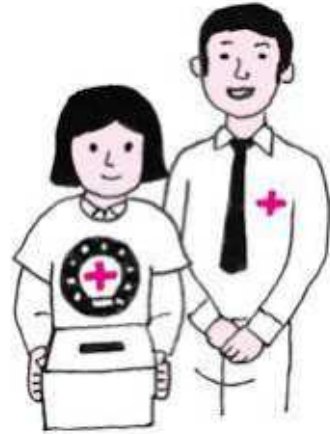
日赤救急法指導員による現地職員・ボランティアへの技術指導(ラオス)



モバイルシネマ(移動映画館)の様子(ブルンジ)



これらの活動は、あなたが災害などで困っている人々を助けるために学校を通じて赤十字に寄せた募金、一般の人々や会社からの寄付によって成り立っています。



#### ひとくち MEMO

[日本が世界から受けた救援]

赤十字が誕生してから、日本に向けて行われた救援は次のとおりです。

※日本の災害に対して過去に3度アピールが出された。

1923年(大正12年)関東大震災

1953年(昭和28年)西日本近畿地方水害

1959年(昭和34年)伊勢湾台風

また、2011年(平成23年)東日本大震災では、アピールを出していないにもかかわらず、世界の赤十字などから約1,002億円の救援金が寄せられました。(2024年6月現在)

## II. 日本赤十字社

### 日本赤十字社の歴史

#### 日本赤十字社の創立

せいなんせんそう  
西南戦争

今から150年程前の1877年(明治10年)、九州で西南戦争が起きました。明治政府の政策にかねがね反感を抱いていた鹿児島<sup>さつまい</sup>の士族たちが、西郷隆盛<sup>さいごうたかもり</sup>をもりたてて起こした反乱です。同じ国民が敵と味方にわかれて戦うことになりました。江戸城の無血開城やその後<sup>そのち</sup>に続く明治維新の断行の際には、薩摩藩士<sup>さつま</sup>として大いに活躍した鹿児島士族は、武勇<sup>ぶゆう</sup>譽れが高く、反乱軍はまたたくまに熊本まで攻め上がりました。そして熊本城・田原坂<sup>たはらざか</sup>を中心に明治政府と反乱軍の間に激しい戦闘を繰り広げ、次々と負傷兵が出ました。政府軍の死者だけでも7千人に達し、反乱軍の死傷者の数は数え切れません。しかし、負傷した兵士の多くは、戦場に倒れたままで十分な看護を受けられません。反乱軍の兵士の中には苦痛に耐えかねてお互い刺し殺し合った者もいたといわれています。

さのつねたみ  
佐野常民

九州での悲惨な戦いを遠く東京の地で聞いて悲しく胸を痛めていた人がいました。その人は、元老院議員の佐野常民<sup>さのつねたみ</sup>でした。

同じ国民が戦場で戦い合っている。しかし、負傷した兵士は何の救護も受けずに放っておかれている。このことが佐野常民には残念でありませんでした。

佐野常民はこれまでに2回ヨーロッパを旅行したことがありました。そのときに、ヨーロッパには戦場の負傷兵を敵・味方の区別なく救護する赤十字という団体があることを知りました。そして、かねがね日本でもそのような団体を作りたいと思っていました。

おぎゅう ゆずる  
大給 恒

この西南戦争のときに赤十字のような団体があれば、負傷兵の生命を救うことができると佐野常民は考えたのです。そのことを友人の元老院議員<sup>おぎゅうゆずる</sup>大給恒に相談したところ大給恒も同じような考えを持っていましたので、大いに賛成してくれました。

はくあいしゃ  
博愛社の誕生

二人はさっそく具体的な計画をまとめました。救護団体を作り、それに<sup>はくあいしゃ</sup>博愛社と名づけ、明治政府に救護活動をすることを願い出ました。

しかし、「敵・味方の別なく救護する」という彼らの考え方は、当時の人々になかなか受け入れられませんでした。

明治政府は、政府軍の兵士を救護するならともかく、政府に逆らう反乱軍の兵士まで救護するという趣旨のこの申し出を認めません。

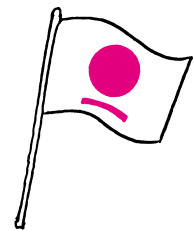
そこで佐野常民は、戦場の熊本へ向かい、熊本城で政府軍の総指揮官として反乱軍の鎮圧にあっていた<sup>ありす がわのみやたるひとしんのう</sup>有栖川宮熾仁親王のもとへ、直接博愛社の設立許可の願書を提出したのです。5月1日のことです。有栖川宮熾仁親王はこの願いを聞き入れ、博愛社の創立を許しました。

それ以来、西南戦争の戦場では、戦いで傷つき倒れた兵士を政府軍・反乱軍の別なく救護する博愛社の姿が見られました。この博愛社の活動は多くの人々を驚かせました。

ひとくち MEMO

博愛社は標章(マーク)として赤い丸と赤い横線を用いた印を使いました。

日本赤十字社の創立記念日は、佐野常民が有栖川宮熾仁親王に願書を提出した日を記念して、1877年5月1日としました。



## 博愛社から日本赤十字社へ

### 日本赤十字社の誕生

西南戦争から9年たった1886年(明治19年)、明治政府はジュネーブ条約に加入しました。そして、**博愛社**は翌年の1887年(明治20年)に社名を**日本赤十字社**と改めることになり、ここに国際赤十字の一員として日本赤十字社が加わることになったのです。

国際赤十字の仲間入りを果たした日本赤十字社は、その後も広範囲にわたる救護活動を積極的に行いました。

戦争や紛争時の救護活動では、西南戦争以降、日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦とくり返される戦争に際して、それぞれ救護班を編成・派遣して、多くの傷ついた戦場の兵士たちの救護にあたりました。

1888年(明治21年)7月の磐梯山噴火災害(福島県)において日本赤十字社は初めて平時の救護活動を行いました。その後、関東大震災、伊勢湾台風、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震や東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、能登半島地震などの災害においても広範囲にわたる救護活動を行いました。災害救護活動は、日本赤十字社の中心的な活動の一つになっています。



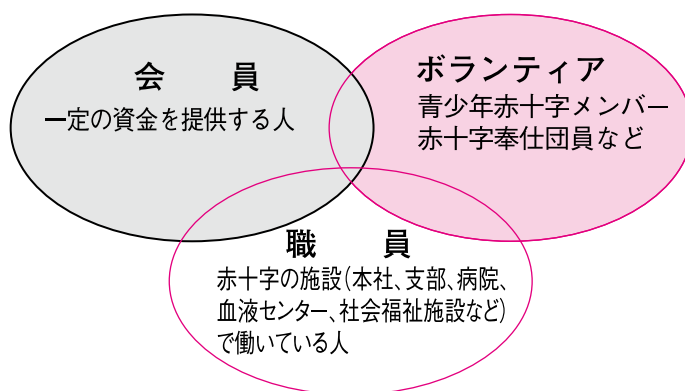
## 日本赤十字社のしくみ

1877年(明治10年)に、日本赤十字社の前身である博愛社が設立されてから、およそ150年がたちました。現在の日本赤十字社は、1952年(昭和27年)に国会で作られた**日本赤十字社法**という法律に基づいて設立された法人です。

日本赤十字社は、日本の福祉の向上のために国の補助的な役割を果たしますが、あくまでも独立した民間の団体で、政府の機関ではありません。

日本赤十字社は、赤十字の目的や活動に賛同してその活動のために一定の資金(会費)を提供する会員によって構成されています。そして、この会員の中から日本赤十字社の社長をはじめとする役員が選ばれます。社会の幅広い人々が参加し運営される団体なのです。

日本赤十字社の構成



上の図のように、日本赤十字社は、会員(一定の資金を提供する人)、ボランティア(赤十字活動にボランティアで参加している人)そして職員(本社、支部、病院、血液センター、社会福祉施設などで働いている人)の三者によって構成されています。

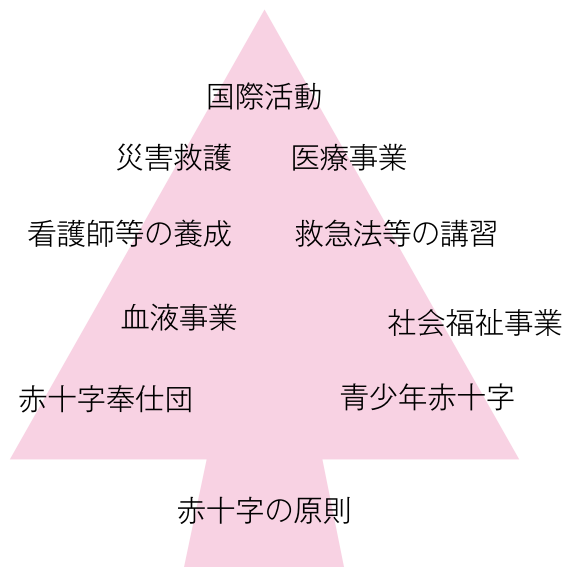
そして日本赤十字社は、この三者が協力し合って事業を行っています。

## 日本赤十字社の活動

人はだれでも人間らしく扱われたいし、また、扱われなければなりません。赤十字の創設者アンリー・デュナンが、ソルフェリーノの戦いで傷ついた兵士たちを「みんな同じ人間どうし!」という気持ちで手当てしたのも、「痛みを取り除いてあげたい。人間らしく扱ってあげたい。」というボランティアの行動だったのです。

人間にとって、肉体的であれ精神的であれ、痛みや苦しみを分かち合い、取り除くことは、お互いの理解を深め、絆を確かなものにする事につながります。

赤十字は、人間がお互いの理解を深め、絆を確かなものとして、平和な社会を築き上げて行くことを目的に様々な活動を行っています。



## 国際活動

赤十字は、国際的な組織です。そして、日本赤十字社でも戦争、紛争、災害などで傷ついた人々のための救援活動、災害対策や保健衛生の分野における支援など世界的な規模での活動を行っています。

## 災害救護活動

災害は、地震や台風をはじめとして日本国内で毎年のように起こり、そこでも多くの人たちが傷つき苦しんでいます。日本赤十字社は日頃から訓練をして災害の現場に救護班を派遣するなど被災者への様々な支援活動を行います。また、義援金を募集して被災者を支援する活動も行っています。

## 医療事業

現在、91の病院と5の診療所を運営しています。地域に密着した病院として総合的な医療を提供すると同時に、救命救急や医療機関の少ない山間部や離島への巡回診療などを行う役割を担っています。また、赤十字病院から、国内災害救護活動や国際救援活動に医師や看護師等を派遣しています。

## 看護師等の養成

日本赤十字社では、明治23年以来、130年以上も看護師等を育ててきました。卒業生は赤十字病院をはじめ、多くの医療機関で働いているほか、国内の災害救護や国際救援でも活躍しています。現在看護大学6校、短期大学1校、看護専門学校10校、助産師学校1校、幹部看護師研修センター1校があります。

## 血液事業

人間の貴い命は、血液によって維持されています。赤十字では、1948年の国際会議で「無償の献血による輸血こそ最善の輸血である」ことを確認して、各国の赤十字社でこの事業を推進しています。日本赤十字社でも1952年から血液事業を開始して、安全性の高い血液を安定的に医療機関に供給できるよう努めています。

### 救急法などの講習会

いざというときにあなたは友達を救えますか？赤十字では、人がけがをしたり、倒れたりしたときにどうやって応急の手当をするかを学ぶ**救急法**や、水の事故から自分の身を守ったり、人を救ったりするための技術を学ぶ**水上安全法**、雪の楽しさを知るとともに、スキー場など雪の上での事故防止や応急手当、救助方法などを学ぶ**雪上安全法**、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防および手当の仕方、かかりやすい病気と看病のしかたなどを学ぶ**幼児安全法**、高齢者の自立に向けた生活の仕方や工夫などを学ぶ**健康生活支援講習**の講習会を行っています。

### 社会福祉事業

家庭の事情などで保護が必要な子どもたちのための乳児院、体の不自由な子どもやおとなたちのための施設や特別養護老人ホーム、また目の不自由な方の援助活動をしている施設など、28の社会福祉施設を運営しています。

また、それらの施設では、多くのボランティアが施設の職員の人たちと一緒に活動しています。

日本赤十字社ホームページ：<https://www.jrc.or.jp/>

### 青少年赤十字

第1章にあるとおり、青少年赤十字メンバーは赤十字を構成する大切な一員です。(詳しくは第1章を見て下さい。)

### 赤十字奉仕団

自分自身の自由な意志に基づいて赤十字活動に参加し、赤十字の使命とする様々な人道的な活動を行うためにボランティアとして協力してくれている人たちがいます。この人たちのグループが赤十字奉仕団です。





- 赤十字奉仕団**
- **地域赤十字奉仕団**  
市区町村など地域単位で組織されています。
  - **特殊赤十字奉仕団**  
スキーパトロール・アマチュア無線・点訳・語学・看護など専門技術をもっている人たちにより組織されています。
  - **青年赤十字奉仕団**  
18～30歳ぐらいまでの社会人や学生よって組織され、高等学校卒業後の活動の場ともなっています。  
(詳しくは18ページをご覧ください。)

以上3つに分けられ、ボランティア活動をしようという意志があれば誰でも参加できます。

その他、日本赤十字社の支部・施設で活動する個人ボランティアも存在します。

赤十字の基本原則の一つに「奉仕」があります。赤十字は、利益を求めない奉仕者が集まった奉仕団体です。赤十字の精神や活動を通して社会のため、人のために役立ちたいという多くの人々が、ボランティアとして赤十字運動に参加しています。そして、災害救護や献血の推進、赤十字病院での活動など赤十字事業の推進をはじめ、社会のニーズに応じた高齢者福祉や障がい者援助など様々な分野で人道の精神に基づいて活動しています。



# Junior Red Cross Hand Book

## 第3章 青少年赤十字の活動

## 気づき、考え、実行する

いま、あなたは困った人に救いの手をさしのべられますか？

今まで学んだことを生かして、わたしたちは青少年赤十字メンバーとして、これからどのように活動を行ったら良いのでしょうか？

だれもが、苦しむ人を見たらなんとかしなくてはいけないと思う気持ちが心の中にこみあげてきます。この気持ちから生まれたのが赤十字です。ですから、赤十字の人道とは、特別のものではなく、だれの心の中にもあるのです。

この赤十字の人道の心を大切にしてい行動につとめるのが、わたしたち青少年赤十字メンバーです。

毎日、生活している家庭・クラス・学校・町などであなたを求めている声が聞こえてきませんか？

### 気づき 身近な問題の発見

なにげなく生活していると気づかなかったことでも、自分が注意深い生活を送るといろいろなことに気がついてくると思えます。(二つの目で見るとともに、心で相手を見る目もちます。)たとえば、友だちやお年よりが困っていたり、ゴミが落ちてクラス内が汚れていたりしていませんか。

気づいたことを行動に移すためには、事前に考えてから実行するとうまくできるでしょう。

### 考え

#### 事実と必要性(ニーズ)の確認

(本当に困っていることは何であるのか考え・調べる)

なぜ、困っているのか、相手の身になって考えるとともに、相手(もの)がどのような状態であるかを良く見て、さしつかえなければそれを相手に尋ねることです。

そうすることによって、相手にとって本当に必要なものが何であるのかがわかります。

もし、自分で良いと思ってしたことでも、相手に役立たなかったのでは「ありがた迷惑」になることもあります。

#### 解決策を数多く考える

困っていることをどのように解決したらよいのかを、自分と仲間(グループ)で考え、解決するための方法をいろいろと出します。

#### 解決のために最良の方法を選ぶ

考え出したさまざまな解決策のなかで自分(自分達)ができる一番良い方法を決め、その方法が行えるように準備をします。

#### 活動計画案の作成: ワークショップ

決定した解決方法を実行できるようにする準備として、活動計画をたてます。この具体的な活動計画案づくりをワークショップといいます。

計画案をつくる時よく用いられるのが5W1Hの表現方法です。この方法を用いると考えがよく整理でき、具体的な計画をつくることができます。

- ① なぜするのか…………… (WHY)
- ② 何をするのか…………… (WHAT)
- ③ だれがするのか…………… (WHO)
- ④ いつするのか…………… (WHEN)
- ⑤ どこでするのか…………… (WHERE)
- ⑥ どのような方法でするのか…………… (HOW)

## 実行する

いよいよ実行です。考え、準備してきたことに従い実行します。

### 評価・反省

終わったら、そのままにしないで反省をしましょう。うまくできた点、もっと工夫したほうがよかったことなどを自分と仲間と一緒に整理します。

このような活動の経験をじっくり評価することが、新しい問題の発見にもなり、次の活動をよりよくすることにつながります。

気づいたらすぐ実行に移せるようなこともたくさんあります。その方が多いでしょう。でも、よく考えた方が良いこと、少しばかり大がかりな活動もあることと思います。そのような活動については、ここに示したような順をおって計画・実行するとよいでしょう。

### ひとくち MEMO

ボランティア・サービス

ボランティア(VOLUNTEER)の語源は、ラテン語のVOLUNTAS(自由な意志FREE WILL)から出ています。

だれから命じられることもなく、自ら進んで人の役に立とうという活動がボランティア・サービスであり、この活動をする人をボランティアといいます。

## 健康・安全(生命と健康を大切にする)

いざというとき、あなたはどのような行動を取るでしょうか？

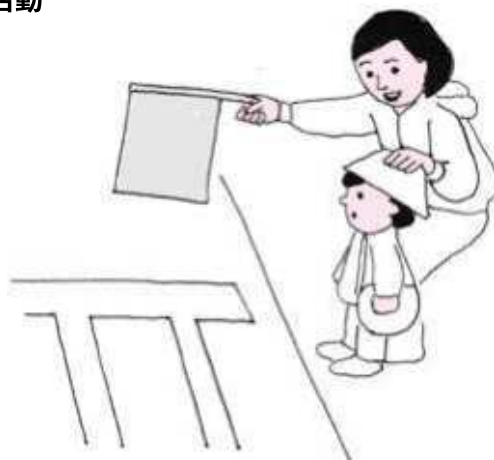
「かぜをひいて寝込んでしまったとき」「けがをして痛い思いをしたとき」などは、健康なときの自分自身のからだのありがたさがわかることと思います。

また、生活している場所に危険なところはないでしょうか。

健康・安全に関する活動は、人間の生命が最も大事なものであることを学び、その生命を守り、自分の健康や、みんなの健康を大切にするために実施します。それでは、どのようなものがあるのか例を見て考えてみましょう。

- 健康に関する活動の例
- 手洗い、うがい、簡単な体操、正しい姿勢をすること
  - 気候にあった服装
  - 適当な食事・運動と睡眠
  - 食品添加物の点検
  - 手洗い場への石けんの取り付け
  - 校舎内外を汚さない運動の推進
  - ごみ箱・排水溝の清掃、消毒
  - けが・病気のときの応急手当(健康安全プログラムの学習)
  - 環境空間の整備(教室の空気の入替え・花の栽培・植樹)

- 安全に関する活動の例
- 教室・廊下・体育館・校庭などの安全点検と簡単な修理
  - 通学路の安全点検や広報活動



私たちは、病気やけがをしたとき、もっとも肉体的、精神的な痛み・苦しみを味わうとともに健康の尊さを知ることになります。その痛み・苦しみは本人にはわかっても他人にはなかなか想像できません。

あなたや知人・友人が「病気・けが」をしないように、また、そうなってしまったときの対応を先生の協力を得ながら活動として推し進めることができれば、家族や友だちの病気・けがによる「痛み・苦しみ」は予防され、あるいは軽減されるでしょう。

健康と安全は全ての活動を行う場合の基本です。健康と安全に関する確かな知識・技術は、あなたの身近な人への思いやりを表す方法の一つとなります。



## 奉仕（人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する）

みんなの中で生きているから……。

あなたが生まれて10数年。毎日なにげなく暮らしていませんか？でも、あなたの生活は、実はさまざまな人々に支えられていることを知っていましたか？さあ、あなたの生活をもう一度振り返ってみましょう。



あなたの周りには、あなたを優しく見守っているお父さんやお母さんをはじめとする家族や、近所の人々や学校のお友達がいます。また、学校の先生、お医者さん、バスの運転手さんなど、実に多くの職業の人々のお世話になっています。



また毎日使っている日用品や学用品、食物、鉱物資源からエネルギーにいたるまで、生産された物の陰には日本ばかりでなく広く世界の人々の貴重な労働があるのです。



こうして見ると、「人間」はまさに「人と人」の間に生きていることがよくわかりますね。そしてあなたもこの「人間」社会の一員なのです。あなたにできる小さな活動、ほんとうに小さな活動を実行することから、この「人間」社会に積極的に参加していきませんか？



そして、あなたの小さな活動のひとつひとつが、立派なボランティア活動なのです。ボランティア活動は多くの人が集まったり、どこかへ出かけていったりして行う活動ばかりではありません。さあ、あなたの生活の中で、あなたにできる小さな小さなボランティア活動を探してみましょう。

### 身近なボランティア活動の例

#### ○清掃美化活動

校舎内外の清掃整備、地域や遠足先等での清掃、カーブミラーみがき、神社・公園・歩道橋・駅の清掃、河川、湖畔・海岸の清掃

#### ○募金活動

青少年赤十字活動のための資金、海外救援金募集、国内義援金募集、NHK海外たすけあい

#### ○施設訪問活動

老人ホーム・病院・特別支援学校・乳児院などに、学校の収穫物・手作り品・手紙などを持参しプレゼントする。合唱・踊りなどを披露する。肩もみやお話を聞く。施設の清掃や草取りなどの手伝いをする。石けん・タオル・雑巾などを集めて贈る。

#### ○地域のお年寄りとの交流

独り暮らしのお年寄りを訪問して話相手をしたり、手伝いをしたりする。手紙や年賀状を書いて送る。手作りのみやげを持っていく。体育祭や文化祭に招待する。カレンダーを作ってプレゼントする。

#### ○その他の活動

緑化運動(通学路や公共の花壇に花を植える。)

ベルマーク等の収集(養護施設等に寄贈する。)

廃品回収(地域の廃品回収を手伝う。)

動物愛護活動(野鳥の巣箱かけ、白鳥の餌集め。)

あいさつ運動

福祉協力品の販売(友情の絵はがき、愛のひとしづく)

交通指導員に感謝の手紙を送る。

## 国際理解・親善 (広く世界の青少年を知り、なかよく助け合う精神を養う)

現在の私たちの生活は国際的なかわりを抜きにしては考えられません。異なる国の間の習慣の違いは、珍しく感じるものや、私たちに はすぐに納得しにくいものもあります。そんなとき、その理由を知り、正しく理解して認めあっていけばよい関係を築くことができます。世界の事を知ることは、自分自身を知ることにもつながります。

まず初めの一步は、「**知ること**」です。

テレビや新聞のニュースや、学校に送られてくる赤十字の資料には、外国のことがたくさん取り上げられています。そのような情報にしっかりと目を向けましょう。すぐに取り組める問題は少しかもしれません。でも若い人たちの行動が大人を変えていった例は数かぎりなくあるのです。

みなさんの学校で青少年赤十字活動のための資金作りに取り組んでいるところも多いでしょう。ニュースなどをみて災害救援などを計画するボランティア団体は、赤十字以外にも多くありますから、その呼びかけにこたえようという場合があるでしょう。みなさんの活動と温かい気持ちが、赤十字を通じて具体的な形となり、ネパールの青少年赤十字加盟校では、多くの自然流下式の簡易水道が実際に設置されました。

募金活動に携わるときに、手作りのパンフレットを作ってみてはどうでしょうか。資料をうつしとるのではなくて、関係のある新聞記事などを集めて、わかりにくい言葉を書きかえて掲示や印刷をして配ったり、校内放送を利用して多くの仲間の気持ちを集めることに挑戦してみてください。

災害で大きな被害を受ける場所では、貧しさがその被害をさらに大きくするということがあるのです。また、調べてみるとわたしたち日本人の生活と結びついている場合もあります。ある国に台風が洪水を起こし、山が崩れて川下で大災害となったことがありましたが、その原因は、山の木々を必要以上に切り出して、山が水をとどめきれなくなってしまったためでした。その木は、材木となって日本に輸出されていたという問題がありました。日本での豊かな生活のために悲劇が大きくなるということもあるのです。世界にはどんな問題があるのか、「苦しむ人を減らす」ためには自分たちに何ができるのかなどを考えていくことが大切です。

スポーツの盛んな学校なら、スポーツ交流をすることができます。

数は多くありませんが、近くに外国人学校スポーツサークルがあれば、地域の方や先生と協力して交流試合を計画できます。

もし、近くに海外に詳しい人や外国の人が住んでいたら、放課後や委員会などの場にお招きしてお話をうかがうのはどうでしょうか。同級生に外国の人がいたら、発表を頼んでみるのもよいかもしれません。聞く人数はあまり多くせずに(20人程度が限界)、何度か開催できると効果的です。

今は各地域に外国人の先生がいますから、授業を離れての交流もしやすいでしょう。

交流会を開くときにはぜひ、話を聞くだけでなく、日本の紹介もしてみてください。

日本赤十字社でも毎年何人もの外国の人を招待しています。機会があれば青少年赤十字の国際交流プログラムにもぜひ参加してみてください。また、職員が赤十字の国際活動についてのお話をすることもできますし、ビデオも何種類か用意しています。各都道府県支部へ直接あるいは先生を通じて問い合わせしてみてください。

## ひとくち MEMO

私たちは他人と自分との違いに目を向けてしまい、心に壁を作り、時には怒りや反感を感じてしまうことがあります。自分には無いもの、自分にはないことを見つける方が、新しいことを学ぶよりも楽し安心するからです。現代はひと昔前より外国の方と会う機会が多くなりました。異文化からきた人たちと仲良くするためには、何をしたら良いのでしょうか？

日本とルワンダの小学生同士でオンライン交流会をした時のことです。子どもたちは事前に用意した歌、踊りを披露し、お互いの文化や学校を紹介し合いました。交流は予定通り進み、最後に自由質問の時間になりました。この時に、ルワンダの子どもから「日本のみんなはどこで祈るの？」と質問がありました。それまで賑やかだった日本の子どもたちはパタッと静かになりました。少して、1人の子が「年末年始に神社にお参りにいきます、家族みんなで行きます」と答えました。

これを聞いていたルワンダの子どもたちの顔色は、「家族みんなで」のところで、それまでよりずっとペアッと明るくなりました。厳しい暮らしを送るルワンダの人々にとって、お祈りをする教会は、村で唯一楽器があり、合唱し、今日よりも明日が良くなると信じられるような素敵なお話を聞くところです。子どもたちにとって、家族と教会に行くことは、大切な時間なのです。ルワンダの子どもたちは、遠く離れた日本の子どもたちも、家族で大切な時間を過ごすことを大事にしているんだ、と身近な共通点を見つけてすぐ嬉しくなったのですね。

違う国から来た人たちは、私たちに理解できないことを言ったり、振る舞ったりするかもしれません。みんなで幸せに生きていく最初の一步は、些細なことでも共通点を見



つけることです。違いを見つけて腹を立てるよりも、共通のを探して温かい気持ちになりましょう。皆さんが国際理解・親善をすすめ、素敵なお会いを通して平和な世界を作っていけますように。

(日本赤十字社ルワンダ現地代表部)



**Junior  
Red  
Cross  
Hand Book**

第4章 資料編

# I. 資料

## 話し合いの方法

さまざまな活動の企画や実施にあたる時に話し合いは大事な要素になります。

したがって個人の意見発表もふくめて、話し合いの進め方を身につけることは非常に大切です。話し合いの仕方はリーダーに必要な技術のひとつともいえます。

### ① 開会にあたって

参加者が自由に発言できる雰囲気づくりや、話し合いのねらいを明らかにする。外部講師や来客等がある場合はお互いに紹介合ってから始める。

### ② 議題を示す

- ・ 議題(テーマ)の要点
- ・ 話し合いの方法や時間の配分

### ③ 話し合いの進め方

- ・ リーダーは参加者から適切な意見をひき出す。
- ・ あまりわき道にそれないように時々まとめてみる。
- ・ 感情的発言、激しい言い合いなどはおだやかに調整する。

### ④ まとめ

- ・ 結論をはっきりまとめる。
- ・ 助言者がいれば指導をうける。
- ・ 閉会の言葉も忘れないように。

## 話し方のポイント

実践に結びつけるために、次のことに十分心がけましょう。

- ① 打ち解けた態度で、表現豊かに話す。

…適当にユーモアを入れて、積極的に相手の心に入って行く。

- ② メンバーの反応に注意して誠実に話す。  
…相手の立場に立って自分の考えを表現する。
- ③ メンバーの理解できるわかりやすい言葉を使い、正確に話す。……自分の考えを正しく理解してもらうように努める。
- ④ 美しく話す。…ジェスチャー、発声の仕方、言葉の使い方を研究する。

## 話し合いの方法・形式はいろいろ

話し合いの形式としては、いろいろな方法があり、それぞれのねらい、長所を考えて採用するようにします。よく用いられるバズ・セッション、それに討論ではありませんが、課題を解決する方法としてのブレイン・ストーミングを次に紹介します。

### ■バズ・セッション

#### バズ・セッションとは

よくいわれる井戸端会議のことです。多人数による集団での討議は、参加者を受け身にさせてしまうとか、責任感のない話し合いにおちいること等が予測されます。

そうならないように、いくつかの小さなグループに分けて話し合ってもらうことをバズ・セッションといいます。

バズ・グループの人数は…

バズ・セッションの方法としては、六六法(six by six method——6人のバズ・グループが6分間話し合う方法)がよく知られ

ていますが、6人6分間にこだわらず、次の2点に注意してグループをつくとよいでしょう。

- (1) メンバー全員が発言できるように、人数はなるべく少なくする。
- (2) 各グループからの代表者が全部発言できるように、時間的制限を考えてグループ数を決める。

### バズ・セッションのすすめかた…

- (1) 全体の司会者が、話し合う問題と時間を説明する。時間が短いので、話し合う問題の説明はわかりやすく簡単に行う。
- (2) バズ・グループをつくる。全体会議の場所をそのまま使うので、机や椅子の奇数番号の人がうしろ向きになり、お互いに顔と顔を向い合わせにし、まろく集まるのが効果的である。
- (3) 初めてのグループである場合は、簡単に自己紹介をする。
- (4) 各グループで、進行係と記録係をきめる。
- (5) 進行係の司会によって話し合いを行う。進行係はグループの全員が発言できるようにする。
- (6) 全体の司会者は、きめられた終了時間の1分前に予告する。
- (7) 時間がきたら、進行係は話し合いを打ち切る。
- (8) 全員がもとの位置にかえり、記録係から各グループでどんな意見が出たか報告をする。
- (9) 全体の記録係が黒板にその意見の要点を書き、整理する。
- (10) いま提出された意見について全体会議をする。

### バズ・セッションの特長と留意点

全員なごやかな雰囲気で見聞を出しあえ、また討議に参加する意識も高まることが考えられます。この討議をさらに効果あるものにするためには

- ・もう少し話したいというところで全体会議にうつる。
- ・全体会議で報告したあと、またバズ・グループに戻して問題を煮つめる。ことなども知っておきましょう。



### ■ブレイン・ストーミング

#### ブレイン・ストーミングとは…

ブレイン・ストーミングは、より創造的なアイデアを得ることと、それに参加したメンバーの創造的思考の習慣を育てることを目的とした、集団による課題解決の方法です。与えられた問題についてメンバーが自由奔放ほんぽうにアイデアを出し合い、出されたアイデアを整理して、その中から問題解決の糸口を見つけ出そうとするものです。

ブレイン・ストーミングの特長は、「人に笑われる。人に批判されるのでは…」というメンバーの心配を取り除き、自由に活発な心の動きで行うことにあります。

#### ブレイン・ストーミングの進め方

- (1) メンバーがお互いに顔を見られるように机を配置し、黒板または模造紙2～3枚を用意する。
- (2) 記録係1～2名を決め、進行係は取り上げた問題について説明するとともに、次の4つのポイントを十分に納得してもらう。
  - ① 他人が出したアイデアについて、良い悪いの批判はしない。
  - ② 自由奔放に、奇想天外なアイデアを出す。
  - ③ 質のよいアイデアを出そうとするよりも、アイデアの量をできるだけ多く出す。
  - ④ 他人が出したアイデアを改善したり、それから連想したアイデアを考えて出す。

- (3) 発言されたアイデアは、記録係が短く要約して黒板または模造紙に記入していく。
- (4) 進行係は、自由にアイデアがでくようななごやかな雰囲気を作るように気をつけながら、次の点に注意する。
  - ① 発言者のアイデアがはっきりしないときは、それをまとめて、「あなたのアイデアはこういうことですね。」とまとめてまとめる努力をする。
  - ② 4つのポイントを破る人には注意する。
- (5) 予定の時間がきたらブレイン・ストーミングを打ち切る。時間は、問題にもよるが10～20分が適当とされているので、長くても30分を超えないように設定する。
- (6) まとめる。

自由奔放に出された多くのアイデアを整理統合します。問題の意図と関係のないアイデアやとても使えないというものを除き、実行可能なものにしぼっていく作業を行います。

選ぶ場合には、

  - ① 目的に合っているか……十分な効果が得られるか。
  - ② 実施の可能性はあるか……困難の度合いや資金、他の活動の影響は。
  - ③ 独創的なアイデアであるか……ありきたりのものではないか。

この3つの側面から全員で厳しく討論することが大切です。



### 青少年赤十字としての活用…

青少年赤十字活動では、ブレイン・ストーミングを立案の際に用いると効果的です。ブレイン・ストーミングによって提示されたアイデアを用いて素案を作り、その素案の項目ごとにまたブレイン・ストーミングを行うと、新鮮さを盛り込むことができ、活動のマンネリ化を防ぐことができるので、積極的な活用をはかりたいものです。



## ■ 青少年赤十字 健康安全プログラム

### 青少年赤十字健康安全プログラムとは

「青少年赤十字健康安全プログラム」は、青少年赤十字の実践目標「健康・安全」にそって、みなさんの学習プログラムの一つとして赤十字が準備したものです。このプログラムを学ぶと、みなさんが学校や家庭での生活の中で、事故の発生しやすい状況をあらかじめ知り、それを避ける行動をとったり、事故が発生した時にはみなさんの力の範囲内でできる技術を身につけることができるようになります。そして、健康で安全な生活を送るとともに、青少年赤十字を通して自分の成長を知り、地域社会でボランティアとして参加する時にも力となることでしょう。ここでは、そのプログラムの一部を紹介しますが、もっとくわしいことを知りたい人は、先生に相談してみてください。

### 1. 鼻血

鼻の入口に近い粘膜の細い血管が、外傷や気圧の変化などで腫れて、出血することが原因です。

- 座って軽く下を向き、鼻を強くつまむ（これで大部分は止まる）。
- 額から鼻の部分をやや冷やし、衣服をゆるめ、静かに座らせる。
- ガーゼを切って軽く鼻孔に詰めて、鼻を強くつまむ。
- 止血しても、すぐに鼻をかまない。
- もしこのような手当で止まらない場合には、もっと深い部分からの出血を考えて、医師の診療を受ける。



頭のけがで、耳、鼻、口などから血液や液体の流出がある時は、頭蓋骨がの底部を骨折した症状であり、重症であるため、直ちに119番通報する。

## 2. 切りきず(出血の多いきず)

刃物や金属片、ガラス片など鋭利なものによる切りきずは、出血や痛みが強く、深いと筋肉、腱、神経を切っていることもあります。きずの手当をするときには

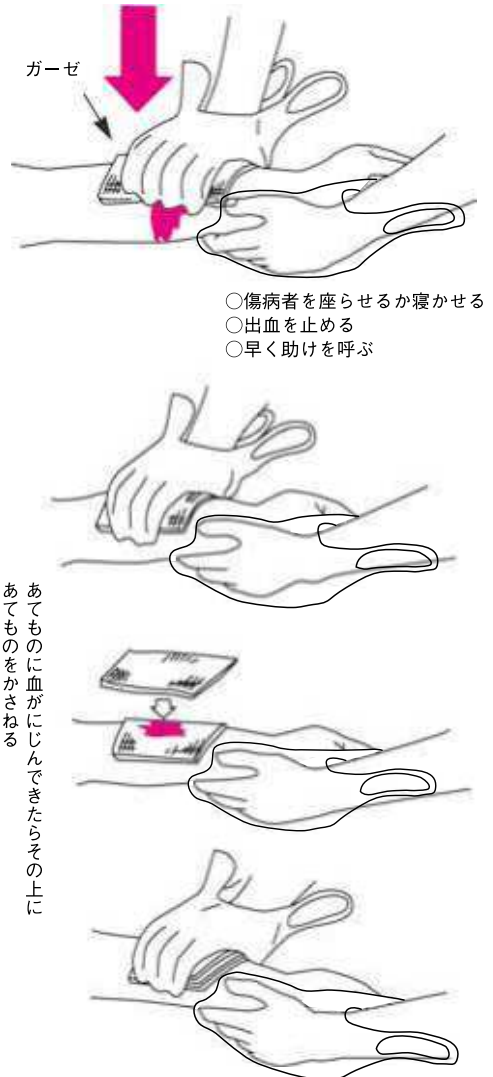
- ①出血を止めること
- ②細菌感染を防ぐこと
- ③痛みを和らげることが大切です。
- 汚れた手できずにさわってはいけません。  
必ず、手当の前に手をきれいに洗いましょう。
- きず口をきれいなガーゼやハンカチなどで強く押さえる。
- 手足のけがであれば高く挙げるとよい。
- 保健室へ行って手当をしてもらう。

## 3. 直接圧迫止血法

きず口に清潔なガーゼや布を当てて圧迫します。圧迫は、手でしっかり押さえて行います。ガーゼなどが血液でひどく濡れてきて止血の効果が下がったときは、その上に新たなガーゼやハンカチなどを重ねて圧迫を続けます。

- ※直接血液に触れないように注意する。  
(ゴム手袋やビニール袋、ポリ袋等の活用を考える。)

## 出血のひどいもの



### 4. 目にゴミが入った

目にゴミが入ることがよくあります。このとき大事なことは『目をこすってはいけません』（こするとゴミで角膜をきずつけることがあります）。さらに、どんな場合でも目のけがは視覚障害や失明する危険につながるので、必ず医師の診療を受けさせます。

- 清潔な水を洗面器などに入れ、水に顔を付けてパチパチさせる。または、水道水を静かに流しながら、指でまぶたをひらいて洗い流す。
- 異物が取れない場合や、薬品や粉末などが目に入った場合には、水でよく洗って、医師の診療を受けましょう。



- 十分に冷やした後は、細菌感染を防ぐために、滅菌ガーゼや清潔な布で患部をおお
- 脱脂綿たっしめんのような細かい繊維のものは使わないこと。
- 水泡（水ぶくれ）ができていてもつぶさないこと。
- 軟こう、油、消毒薬などはぬらないこと。

### 5. やけど

やけどの手当で大事なことは、清潔に行うこと、できるだけ早く冷たいきれいな水で冷やすことです。

- すぐに冷やすこと。できれば水道の水などきれいな冷水をかけて冷やす。患部に直接強い水圧をかけないこと。多量の水がないときは、衣類の上から冷やす場合を除き清潔な布を水に浸して患部に当てて冷やす。痛みが取れるまで冷やし続ける。
- 衣服の上から熱湯などをあびたときは、直ちに衣服の上から水をかけるか水に浸して冷やす。

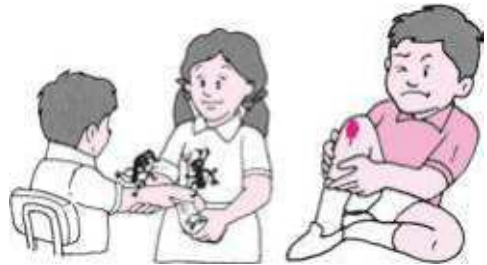


## 6. すりきず

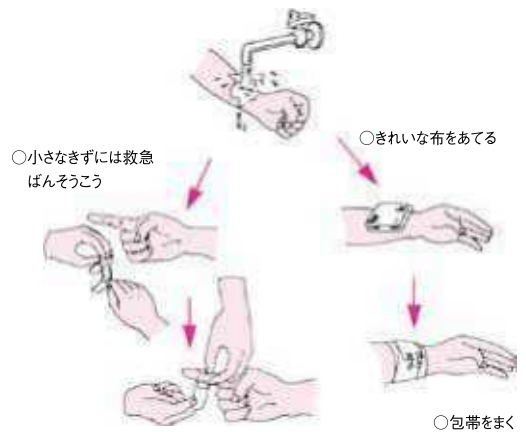
すりきずは皮膚をこすったきず(擦過傷)で、出血と痛みがあります。また、浅くてもきずの範囲が広く、汚れとともに細菌がつきやすいので、感染を起こしやすいものです。そこですりきずでは「細菌感染を防ぐこと」が、とても大切です。

- こすらないで水道の水などできずをよく洗う。
- \* 痛みも軽い小さいきずならこれでよい。  
少し大きいきずのときは次の方法による。
- きずをよく洗い、かわかしたのち、清潔なガーゼ、または、きれいな布かハンカチをあてて包帯をする。
- きず口にできた血の塊(かさぶた)は、自然に血液が固まって止血されたものであるから、むやみに取り除かない。
- きず口に直接、綿やティッシュをのせてはいけない(細かい繊維がきず口に残るため)。

細菌感染に注意



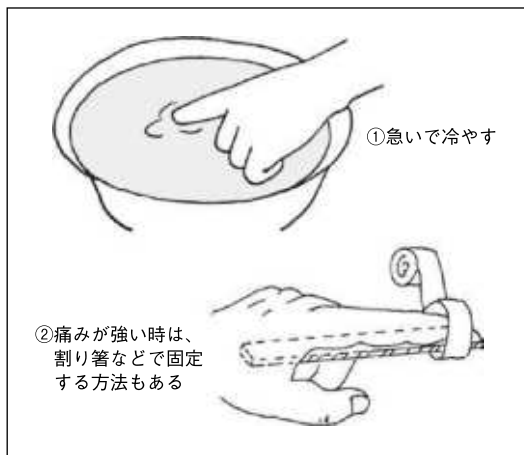
出血の少ないきず



## 7. 突き指

ボール遊びや球技中に突き指をすることがよくあります。突き指といっても単なる打撲の場合や、捻挫や脱臼、骨折を伴っている場合もあります。

「突き指は指を引っ張れば治る」というのは誤りです。突き指でも無理に動かすのは禁物です。応急手当としては、次の方法を行います。



## ひとくちMEMO

## 赤十字救急法講習

日本赤十字社では、病気やけがや災害から自分自身を守り、急病人やけが人を正しく救助して医師などに引き継ぐまでの手当の知識や技術を身につけ、実際の場面で使えるようにするための講習を行っています。

いざという時に役立つための技術です。高校生(15才以上)になったら是非この講習を受けましょう。

## 8. 熱中症

夏の強い日差しの中で運動をしたり、長い時間炎天下にさらされているときに起こります。涼しい服を着たり、休養や水分(スポーツドリンク)の補給を適度に行って熱中症を予防しましょう。

- 涼しい所へ運び、衣服をゆるめて楽にさせる。
- 原則として水平にするが、本人が楽な姿勢にする。
- 意識がないときは回復体位(下図参照)をとらせ大急ぎで人を呼ぶ。
- 体温が高いときは、冷たい水で全身の皮膚をぬらし、あおいで風を送って体温を下げる。
- 意識があり、吐き気や嘔吐がなければ、少しずつ冷たい飲み物を飲ませてもよい。



回復体位

## 高齢者への支援の仕方

加齢のために心身の機能が変化したり、何らかの病気や障がいがあっても、毎日をその人らしく過ごせるように、あなたができる支援の方法を学びましょう。

抵抗力の低下している高齢者を感染症から守り、支援する自分自身においても感染症を予防することが大切です。

活動の前後には、手洗いやうがいをしましょう。日常生活上も習慣づけておくと病気の予防になります。

### ■ 手洗いの方法 流れる水で、石けんをつけて、よくこする



1 指先を流水でぬらす



2 石けん液を適量取り出す



3 手の平をこすり合わせよく泡立てる



4 両手の指の間をこすり合わせる



5 手の甲をもう一方の手の平でこする (両手)



6 指先でもう一方の手の平をこする (両方)



7 親指をもう一方の手で包みこする (両手)



8 両手首までいねいにこする



9 流水ですすぐ



10 ペーパータオルなどでよく水気をとる

### ■ うがいの方法

水または、うがい薬やお茶（お茶に殺菌作用があります）などを用いて、のどの奥まで行います。



### ひとくち MEMO

#### 赤十字健康生活支援講習

高齢の家族や地域の高齢者への接し方、自身が高齢期を健やかに迎えるための知識や技術について学べます。

## 車いすを使用している人への支援の仕方

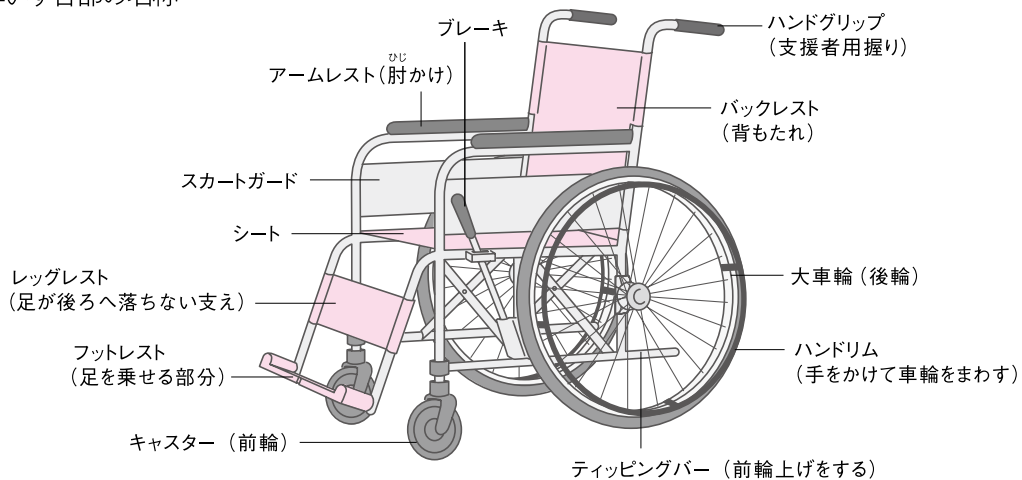
からだが不自由でも、車いすに乗って社会活動されている方は多くいます。「ちょっとお願いします」と言われたときに対応できるようにポイントを知っておきましょう。

### ①車いすを押すときの留意点

- 安全のため、使用前の点検を十分に行う。
- 安定した姿勢で座っていることを確認する。
- 走行中に、手や足を巻き込まないように注意する。
- 移動先、目的地などを確認し、コミュニケーションを図る。
- 車いすを押す人から、車いすのフットレストは死角になるため、乗っている人の足先を周りにぶつけてしまうことが多いので注意する。

### ②車いすの仕組みと点検のポイント

車いす各部の名称



### ■ 点検のポイント

使用する前に

- 安全の確認のために、ブレーキが甘くないか、タイヤの空気が抜けていないか、ネジなどの部品がしっかりとまっているか、乗ってみて曲進・振動・異常音がないかを点検する。
- 屋内で使用する場合には、室内を整備し、スムーズに移動できるようにする。



## 押し方・ブレーキのかけ方



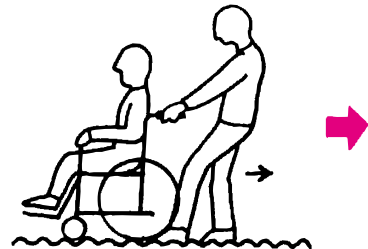
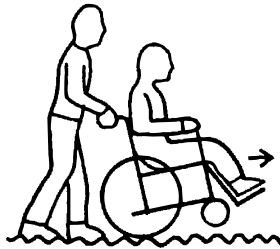
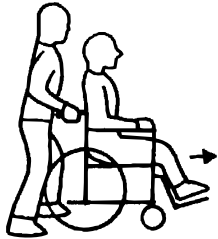
- ④押し方
1. 車いすの真後ろに立つ。
  2. 両手でハンドグリップを深く、しっかりと握る。
  3. 前後左右に注意してゆっくり押す。



- ⑤ブレーキのかけ方
1. 車いすの横に立つ。
  2. 片手はハンドグリップを握り、もう一つの手でブレーキを完全にかける。
  3. 反対側のブレーキをかける。

ほんの少しの間の停車でも、ブレーキは必ずかけること。

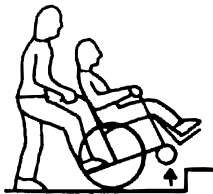
## 道路



- ⑥平地では後ろから、ゆっくりと押します。人ごみの中では特に他の通行人に車いすをぶつけないように・・・(フットレストを前の人の足にあてないように)。

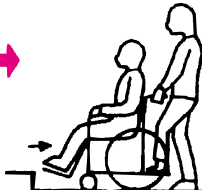
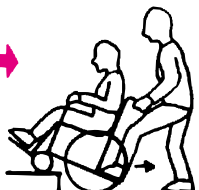
でこぼこや段差・すき間はできるだけ避けてください。

- ⑦段差を上げるには一車いすは前向きで



1. キャスター上げをする。
2. キャスターを段にのせる。
3. 後輪を押し上げる。

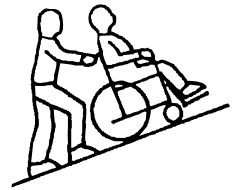
- ⑧段差を降りるには一車いすは後向きで



1. 後輪を下ろす。
2. キャスターを上げ、後ろにひく。
3. キャスターを下ろす。

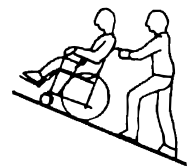
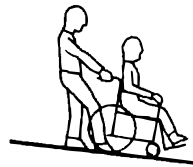
- ⑨砂利道では
1. キャスター上げをしながら、しずかに押してゆきます。
  2. 首の安定が悪い人は後ろ向きでひっぱってゆきます。

- ⑩上り坂では



後ろから少し体を前傾して、一步一步しっかりと押します。押し戻されないように！

- ⑪下り坂では



1. ゆるやかな下り坂では、軽くブレーキをかけたが前向きで、車いすをひくようにして下る。
2. 急な下り坂では、後ろ向きで、一步一步ゆっくりと下る。ブレーキを軽くかける。

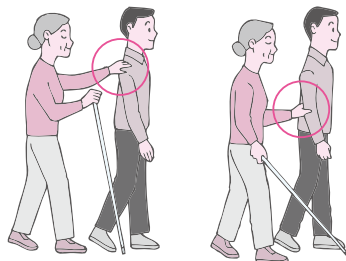
## 障がいのある人への支援

### (1) 視覚障がいがある場合

目の不自由な方が、安心して外出できるように、ガイド（誘導）の方法を知っておきましょう。ガイドは安全性が最優先されます。そのうえで、視覚障がい者、ガイド者ともにやりやすく、見た目も自然なガイドをこころがけます。

#### ● 白杖の役割

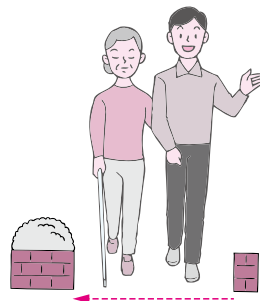
- ・歩行面（路面）の情報を収集する
- ・障害物から身体を守る ・存在を周囲に知らせる



#### ● ガイド（誘導）の方法

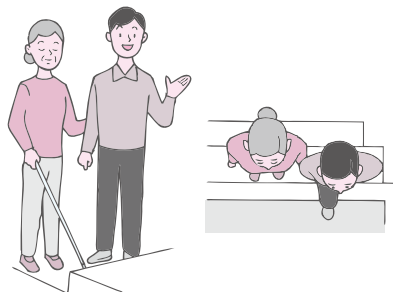
##### ○基本的方法

- ・誘導する際には、視覚障がい者の前に立って肘の上を持ってもらいます。この形で半歩前を歩きます。（身長差があるときには肩に手を置くこともあります。）
- ・ガイド者は、二人分の幅を確保しながら歩きます。
- ・歩く速さや、どちら側を歩くのかなど、視覚障がい者本人に確認してください。



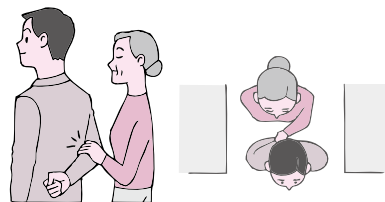
##### ○階段の昇降

- ・階段の手前で止まり、階段の昇降を伝えます。
- ・ステップ面に、まっすぐ向き合い、視覚障がい者に階段の位置や高さを白杖や足で確認してもらいます。
- ・「一段上ります（下がります）」などと声をかけ、常にガイド者が一段先を昇降します。
- ・最後の段では、「階段は終わりです」などの声をかけてください。



##### ○人混みや狭い場所での通過

- ・人混みや狭い場所を通過するときは、状況を伝えます。
- ・ガイドしている腕を背中側に回し、「狭いところですので、私の後ろに入ってください」などの声をかけ、ガイド者の一步後方に入ってもらいます。（さらに狭い場所では、お互いの手の甲を触れながら横歩きをする場合もあります。）



状況の変化があっても視覚障がい者にはわかりにくい場合があります。急に向きを変えたりせず、「次の角を左に曲がります」など一声かけましょう。このように、一般的なガイドの方法を知ったうえで、視覚障がい者本人がどのようなガイドをして欲しいかを尋ね、より良い方法を話し合ってください。

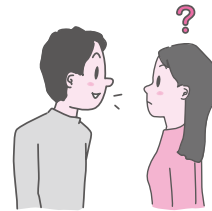
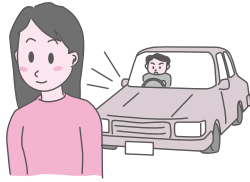
(2) 聴覚障がいがある場合

聴覚障がいの場合、他の障がいに比べ、外見からはわかりにくい障がいです。困っていることに気づかれず、周囲も何に困っているのか理解しづらいことがあります。

● 聞こえないと、こんな不便や危険が！



音声による情報がわかりません



会話の内容までつかめないことがあります

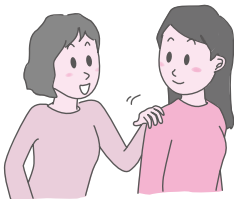


呼びかけに答えられません

● コミュニケーションの方法

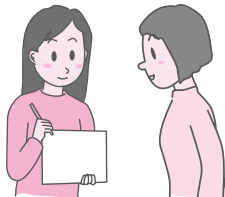
○呼びかけても返事のないときは

肩をたたき正面からコミュニケーションをとります



○筆談

文は短く、わかりやすくします



○口話（読話）（相手の口の形を読み取る）

ゆっくり、はっきり話します（マスクをしている場合は、取る）



○身振り・手振り

言いたいことをからだの動きで伝えます



○手話（マスクは取る）

言いたいことをからだの動きで伝えます



※手話を知らない人もいます

○電灯を点滅させる



聴覚障がい者屋内信号装置

出典：中津川市 防災対策課・障害援護課発行「聴覚障害者支援マニュアル」（一部改編）

## 手話

目の不自由な人たちのために点字があるように、耳と口の不自由な人たちのために手話があります。

手話は、手のデリケートな動きと表情によってさまざまな意味を表現します。

現在、わが国のろう学校では、口話法による教育を原則としていますが、それは耳と口の不自由な人たちが口の動きを読みとり、音声を発して健聴者(耳と口が不自由でない人)と自由に会話ができるようになるためです。

私たちが手話を学ぼうとするとき、それは耳と口の不自由な人たちの口話法を否定するのではなく、耳と口の不自由な人たちの言葉の不足を補い助けて日常生活をより豊かにするためです。

したがって、私たちは手話を単に身振りとしてだけ学ぶのではなく、耳と口の不自由な人たちの口話法を助けるように音声とともに行うことが大切です。

手話の補強的役割として指文字(指の動きによるアイウエオ)も使われます。指文字は、人名や地名などを正確に伝えるときに使われます。

耳と口の不自由な人たちは、コミュニケーションの有効な手段として、単に手話だけでなく、口話と手話、手話と指文字などを組み合わせています。

また、手話は地域や個人の表現によって多様で流動的です。作られてゆく言葉もあれば、消えてゆく言葉もあり、普通のことは

と何ら変わりません。

ただ、助詞や助動詞といったものではなく、「私とあなたは友だちです」というような場合、「私」「あなた」「友だち」となります。相手に聞く場合は、そのあとに「?(疑問符)」をつけます。ここでは、標準的手話として全国的に使われているものをいくつかとりあげてみました。

手話講習会は、各都道府県の民生関係部局にお問い合わせください。

〈例〉私とあなたはお友達です。



？（疑問符）



手の掌をやや上に向けて差し出す。

何か？



人差し指を左右にふる。

だれ？



折り曲げた手ではほを前後にこする。

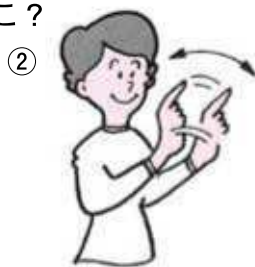
なぜ



① どこ？



「場所」を示し



人差し指を左右に振る。

手の掌を上に向けて左右にゆさぶる。

どうですか？



同じ



両親指と人差し指を二・三度合わせる。

違う



かるく振り回す。

①



「同じ」のしぐさで前方につき出す。

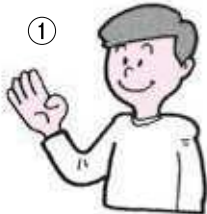
そうだ

②



いくつ

①



親指から順に折り曲げる。

②



有る



やや下に向けておしだす。

無い



## 点 字

視覚障がい者にとって“最も有効な文字”として、広く用いられている点字は、パリの訓盲院の生徒で後に同校の教官となったルイ・ブライユによって、1825年(文政8年)に考案された文字です。1854年(安政元年)にフランスで公式文字として採用されたのを皮切りに、その後次第に各国でこの6点点字が用いられるようになりました。それまでは、普通の文字を木片に彫つてみたり、ろう板押し型で刻印したり、また糸を用いて文字にした浮き出し文字が使われていたが、これらの文字は、読むには不便で、書くには困難でした。

日本では、1890年(明治23年)東京盲学校の教員石川倉次によって、ブライユ式点字が五十音式に翻案されました。

解読文字である点字は、たて3点、よこ2点の6点を組み合わせて構成され、五十音だけでなく、数字、アルファベット、記号・符号、楽譜などを表します。点字はすべて横書きで、点字器で書く場合は右から左へ書き、視覚障がい者は指先で凸面を左から右へ読みます。

普通の文字を読むことのできない視覚障がい者は、点字を通して、多くの情報を得たり、読書に親しんでいます。それには普通の文字を点字に書きかえる「点訳」をしなければなりません。

点訳というのは、普通の文字で書かれた本の1字1句を、そのまま正確に点字に変えていくことで、点訳をする人を点訳者(点訳ボランティア)といいます。

点訳をするには、点字の書き方をマスターするだけでなく、難しい漢字や文章を正しく読みこなす国語力、注意力、疑問点などを確かめる姿勢が大切です。さらに点訳は大変根気のいる地道な活動です。

全国の視覚障がい者情報提供施設で点字講習を行っていますのでお問い合わせください。

### 資料の一例

日本点字表記法2001年版

(日本点字委員会)

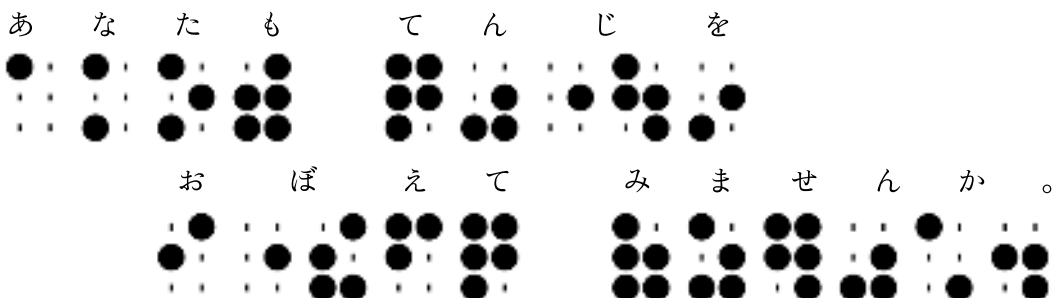
点訳のてびき(第3版)

(全国視覚障害者情報提供施設協会)

最新点字表記辞典 増補改訂版

(視覚障害者支援総合センター)

### 【例】



点字は、現代かなづかいに準じて書きます。しかし、墨字(点字に対して一般に使われる文字をいう)で「う」と書くウ列オ列の長音は、長音符を使って書き表わします。

例) ワタクシワ(私は)  
オカアサン(お母さん)  
オネエサン(お姉さん)  
オオキイ(大きい)  
トケイ(時計)  
トーキョー(東京)  
スーガク(数学)  
エイセイ(衛生)  
メイシヨ(名所)

音がつまる場合には、「つ」をつかわないで点字では促音符をつかいます。また、数字の場合には、まず数符を前置し、それから数字を表わすア行ラ行の文字を書きます。数符を落とすと普通の文字とまちがえられてしまいます。なお、数字のあとに続く文字が、数字につかう文字と同じ場合には、その間につなぎ符をつかいます。

例) サ 即音符 カ(作家)  
数符 5 ニン  
数符 1982 ネン(1982年)  
セカイ 数符 1 (世界一)  
数符 3 つなぎ符 ルイ(三墨)

点字ではことば(品詞)ひとつひとつで間をあけて書きますが、助詞や助動詞は続けて書きます。ただし、接頭語や接尾語などの短いことば、二つのことばが結びついて

一つのことばになっているものは続けて書きます。

ますのあけ方は、ひとつのことばと他のことばの間、助詞の後ろ、読点・中点の後ろは1ます、文章が区切りになっている場合、すなわち句点・疑問符・感嘆符の後ろは、2ますあけます。

また、ひと続きに書くことばが1行に入りきらないときは、行末があいても2行にまたがらせないで次の行からはじめます。

また、新しく文章がはじまる場合や行が改まる場合には、必ず2ますをあけて3ます目から書きはじめます。

例) ウンドーヲ□スル  
ノグチ□ヒデオ  
スズキ□サン  
ソノ□ツクエ  
アル□ヒト  
ウレシイ□コト  
シテ□クダサイ  
デ□アル  
シテ□イル  
ニッポン□セキジュージシャ

# 点字一覧表

## (凸面用)

### 点字の組み立て

①点字はタテ3点ヨコ2点の六つの点の組み合わせからなる。  
表音文字で、左上から下へ順に、1の点、2の点、3の点、  
右上から下へ順に4の点、5の点、6の点と言う。



②濁音4拗音は、この6点を2単位（ニマス）用いてつくる。  
濁音はその清音の前に5の点を加えてつくり、拗音は4の  
点を加える。

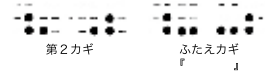
マス

③点字は紙の表面から裏へつき出して書き、右から左への横書きである。  
視覚障がい者はその凸面を触続する。

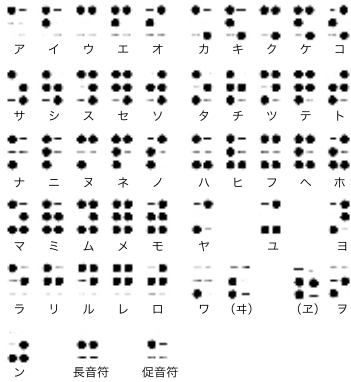
④この表は凸面用であり、視覚障がい者同様、点字を凸面から読む際  
に用いる。この場合左から右へ読み進む。

※ここでは凸面用を紹介しましたが、点字器で打つ場合  
の凹面用もあります。

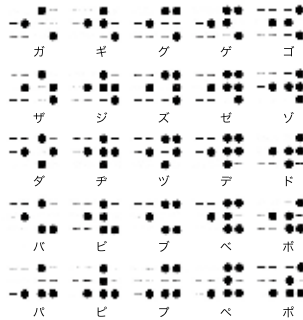
### 記号・符号



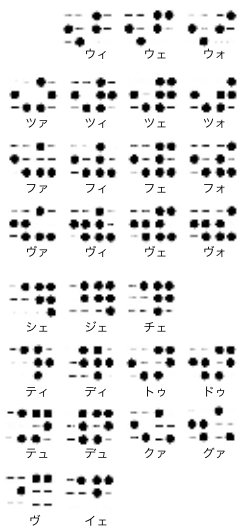
### 五十音



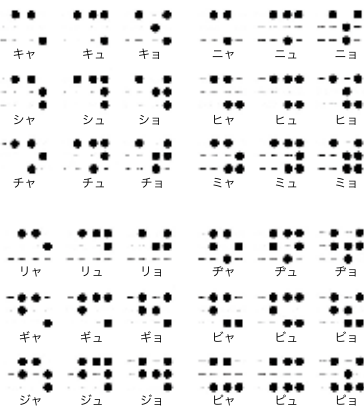
### 濁音・半濁音



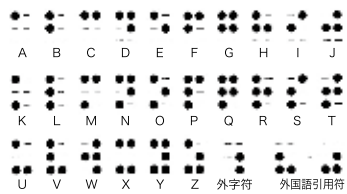
### 特殊音



### 拗音



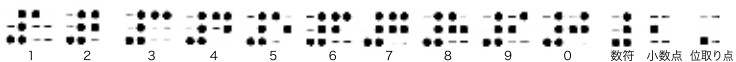
### アルファベット



### 英文記号



### 数字





空は世界へ



空は世界へ

杉江健次  
杉江健介  
橋本国彦  
作詞  
作曲

一、空は世界へ つづいてる

空は世界を だいてる

みんなごらんよ あの空を

空が僕らの 私らの

ころよ心よ 少年赤十字

二、花はだれにも匂ってる

花はやさしく匂ってる

みんなごらんよ あの花を

花が 僕らの 私らの

すがたよ姿よ 少年赤十字

三、星はどこでも 光ってる

星は仲よく 光ってる

みんなごらんよ あのを

星が 僕らの 私らの

ほこりよ誇りよ 少年赤十字

四、旗は十字の 愛の旗

旗はかがやく 愛の旗

みんなごらんよ あの旗を

旗が 僕らの 私らの

しるしよしるしよ 少年赤十字

青少年赤十字の歌



あけそめる おおぞらに みなぎるひかり あふれるいのち  
 われらわ こうど われらわ こうど け  
 ん こうのあしなみそろえ すすむのだから やくみちを  
 ひとすじに かがやくみちを

青少年赤十字の歌

田中進兵衛 作詞  
 山田耕筰 作曲

一、明けそめる 大空に

みなぎる光 あふれるいのち  
 われら若人 われら若人

健康の足並そろえ

進むのだから かがやく途を  
 ひとすじに かがやく途を

二、さしのべる手を 組んで

あわせる力 つらぬくまこと

われら若人 われら若人

清純の ちかいにこぞり  
 尽くすのだ 世界のために  
 人のため 世界のために

三、海こえて へだてなく

呼び合う心 ゆき交うこだま

われら若人 われら若人

親善の 結びもかたく  
 仰ぐのだ 十字の旗を

ひるがえる 十字の旗を

レクリエーションとは、単なる「あそび」ではありません。レクリエーションは、Recreation（再創造）から出ており、「人間性の回復をめざし、健全で人生を豊かにする活動」をいいます。それは、「生きる喜びづくりの活動である」ということもできます。

したがって、レクリエーションは、疲労を回復したり、気分を転換したり、心身をきたえたり、教養を深めたり、親睦をはかるなどの幅広い意味が含まれています。

また、レクリエーションといえば、すぐにゲームやフォークダンス、歌などを思い出しますが、レクリエーションには、①スポーツおよびゲーム ②野外活動および自然の観賞と理解 ③ダンスや踊り ④演劇活動 ⑤音楽活動 ⑥美術、手芸、工作活動 ⑦文学的活動 ⑧旅行 ⑨社交的活動 ⑩奉仕的活動 ⑪年中行事、祭礼、その他趣味的活動などがあります。

レクリエーションは、人と人との相互作用を通じて、①明るい人間関係をつくる ②集団帰属の欲求を満たす ③心と体の健康を増進する ④生活を豊かにするなどの効果があります。

ここでは、グループ活動に役立つレクリエーションの例としてゲームをとりあげてみました。

## 数あつまり

ポイント ●リーダーの指示した人数で早く集まる。

人数 ●20~100人ぐらい。

準備するもの ●なし。

### すすめ方

① リーダーの笛を鳴らした数だけ、すばやく集まり、手をつないでその場に腰をおろす。数によって、あまる人が出てくる。

② リーダーは数をかえて、何度かくり返す。

応用= 一重の円をつくって、前の人の肩に手をおき、歌をうたいながら走り、その途中でリーダーが笛を鳴らすようにしてもよい。またその時に、リーダーが1回笛を鳴らすと、全員反対に向いて走り、2回以上鳴らすと、その数で集まるというようにすると、おもしろさも増す。



## だるまさん

ポイント ● “だるまさん”ということばがついたときだけリーダーに指示された動作に従う。  
 人数 ● 何人でもよい。  
 準備するもの ● なし。

### すすめ方

- ① リーダーは「私がだるまさん〇〇をしましょう」といいますから「だるまさん」といったときだけ、そのとおりの動作をして下さい」と説明をする。
- ② リーダーは、「だるまさん、全員立って下さい」「だるまさん、両手を上にあげて下さい」「両手を下ろして下さい」など、だるまさんをつけたりつけなかったりして指示をする。全員は「だるまさん」ということばがついたときだけ、指示された動作を行う。

留意点＝ 学習のあいまに行うとよい。リーダーは、「大きく背のびをして下さい」「前の人の肩をたたいて下さい」など、適当に指示をする。

応用＝「だるまさん」のかわりに好きな言葉を決め動作を行う。

## 都道府県五目並べ

ポイント ● 県名をつかったグループ対抗の五目並べ。  
 人数 ● 1グループ5～10人で4～8グループ。  
 準備するもの ● 各グループに模造紙1枚とマジック。

### すすめ方

- ① 各グループ、模造紙とマジックを中央において集まる。
- ② 模造紙に縦6本横6本の線を引き、計25のマス目をつくる。
- ③ グループで協力して、25のマスに、都道府県名をバラバラに記入する。これも競争にするとおもしろい。
- ④ リーダーは都道府県名をあげていく。例「風味のあるカキ、そして二度と落とされたくない“原爆”といえば、そう、“広島県”」
- ⑤ リーダーのあげた都道府県名がグループのマス目の中に記入されていたら、そこに、マジックで○印をつける。
- ⑥ マルの数が、縦・横・ななめ、いずれか5つならんだら、グループ全員で「バンザイ」とさけぶ。
- ⑦ 早く5つならんだグループから順位をつける。

# II. 付録

## 年表

国際赤十字のあゆみ		世界と日本の動き		日本赤十字社のあゆみ	
1828	アンリー・デュナン、ジュネーブに生まれる	1823 1825	米国モンロー宣言 幕府異国船打払令	1822	佐野常民、佐賀に生まれる
1849	デュナン、ジュネーブの銀行に就職	1834 1840	モールス「電信機」発明 ～42 アヘン戦争	1839	大給 恒、江戸に生まれる
1854	～58 デュナン、アルジェリアに製粉会社を設立する仕事に従事	1848 1850 1853	仏で2月革命、独で3月革命 ～64 太平天国の乱 ペリーが浦賀に来航 ～56 クリミア戦争		
1859	デュナン、ソルフェリーノの戦場で傷病兵を敵味方の区別なく救護	1854 1858	日米和親条約、日本開国 幕府5カ国通商条約 安政の大獄 ダーウィン「種の起原」 ～61 イタリア統一戦争 (仏・サルディニア対オーストリア)		
1862	デュナン、「ソルフェリーノの思い出」出版	1860	威臨丸太平洋横断 桜田門外の変		
1863	五人委員会誕生 16カ国の代表がジュネーブに集まり赤十字規約を作る 赤十字の標章決定	1861 1862	～65 アメリカ南北戦争 生麦事件 ユーゴー「レ・ミゼラブル」刊行		
1864	12カ国により初のジュネーブ条約調印	1863	リンカーン、奴隷解放宣言		
1867	第1回赤十字国際会議(パリ)	1864 1867	第1インターナショナル結成 大政奉還、王政復古宣言 マルクス「資本論」	1867	佐野常民、パリ万国博覧会(赤十字館)視察
1870	デュナン、普仏戦争で被災者救護	1868 1869	明治維新、五カ条の御誓文 スエズ運河開通		
1875	「五人委員会」を「赤十字国際委員会」と改称	1870 1871	～71 普仏戦争 パリ・コムニオン ドイツ帝国成立 日本廃藩置県	1873	佐野常民、ウィーン万国博覧会視察
1890	アウグスタ基金組織	1872	日本、学制制定 太陽暦採用	1877	西南戦争で負傷者救護 佐野常民・大給恒、博愛社設立
1899	ジュネーブ条約の原則を海戦に応用するハーグ(ヘグ)条約成立	1876 1877	ベル、「電話機」完成 西南戦争 ロシア・トルコ戦争	1886	政府ジュネーブ条約調印 博愛社病院設立
1901	デュナン、世界初のノーベル平和賞受賞	1879 1881 1884	エジソン、「電燈」発明 ドストエフスキー、「罪と罰」刊行 鹿鳴館時代 ～85 アフリカ分割に関するベルリン列国会議	1887	博愛社を日本赤十字社と改称、赤十字国際委員会から承認される
		1885	日本、内閣制度制定 第1次伊藤内閣成立	1888	磐梯山噴火、初の災害救護
		1886	日本政府、1864年のジュネーブ条約調印	1890	看護婦養成開始
		1889	第2回インターナショナル結成 大日本帝国憲法公布	1891	渋谷に病院を移転
		1891	大津事件	1892	本社病院開院
		1894	～95 日清戦争	1894	～95 日清戦争救護
		1895	レントゲン「X線」発見	1899	病院船「博愛丸・弘済丸」完成
		1896	第1回近代オリンピック開催(アテネ)	1900	北清事変救護
		1898	キュリー夫妻、「ラジウム」発見	1901	日本赤十字社条令認可、社団法人として登記
		1900	～01 北清事変		
		1901	ノーベル賞創設		

## 第4章 資料編

国際赤十字のあゆみ		世界と日本の動き		日本赤十字社のあゆみ	
		1903	スコット南極探検 ライト兄弟初飛行	1902	佐野常民死去
1910	デュナン死去 ナイチンゲール死去	1904	～05 日露戦争	1904	～05 日露戦争看護
1912	フローレンス・ナイチンゲール記章制定	1910	日韓併合	1910	大給恒死去
1914	～17 青少年赤十字の芽生え	1911	日本関税自主権を回復		
		1912	大正と改元	1912	昭憲皇太后、国際赤十字に基金下賜
1917	赤十字国際委員会、 ノーベル平和賞受賞	1914	～18 第一次世界大戦	1914	～15 第一次世界大戦看護
1919	赤十字の平和事業拡張を目的と する5カ国(日、英、仏、伊、米)会議 赤十字社連盟設立	1915	アインシュタイン「相対性理論」 ファールブル「昆虫記」刊行		
1920	第1回赤十字社連盟総会 第1回ナイチンゲール記章授与	1917	ロシア革命		
1922	青少年赤十字の誕生	1918	原敬内閣成立		
		1919	ベルサイユ条約		
1929	捕虜の待遇に関する ジュネーブ条約成立	1920	国際連盟成立	1920	日赤看護婦3名 第1回ナイチンゲール記章受賞 ポーランド孤児救済 ロシア難民救済 滋賀県に最初の少年赤十字発足
		1923	関東大震災	1922	滋賀県に最初の少年赤十字発足
1934	第15回赤十字国際会議(東京)	1926	昭和と改元	1923	関東大震災看護
		1929	～世界経済恐慌	1926	第2回東洋赤十字会議(東京)
1944	赤十字国際委員会、第2回目の ノーベル平和賞受賞	1931	満州事変	1931	満州事変看護
1946	連盟理事会「赤十字指導原理」 13カ条決議	1932	五・一五事件		
1948	国際会議「赤十字平和宣言」決議 世界赤十字デー制定	1933	日本の国際連盟脱退 ニューディール政策	1934	第15回赤十字国際会議開催(東京)
1949	8月12日ジュネーブ四条約成立	1936	二・二六事件	1937	東洋地方青少年赤十字会議 ～45 日中戦争・太平洋戦争看護 日中戦争看護
1950	赤十字社連盟憲章議決	1937	～41 日中戦争	1941	太平洋戦争看護
		1939	～45 第二次世界大戦		
		1941	太平洋戦争 関門トンネル開通	1941	太平洋戦争看護
		1945	広島・長崎原爆投下、 終戦国際連合成立	1945	米国赤十字社、日本赤十字社 再建に協力(安否調査)
1959	赤十字思想誕生百周年記念	1946	日本国憲法発布	1948	青少年赤十字組織変更 赤十字奉仕団結成
1963	国際赤十字百周年記念 アンリー・デュナン記章制定 国際委員会、連盟、 ノーベル平和賞受賞	1948	世界人権宣言	1950	第1回青少年赤十字大会
1965	国際会議「赤十字基本原則」議決 ベトナム戦争犠牲者救援	1950	～53 朝鮮戦争	1952	血液銀行開設 日本赤十字社法制定
		1951	サンフランシスコ講和条約、 日米安保条約調印	1953	中央・ソ連地区の邦人引揚交渉
		1953	日本政府、 1949年のジュネーブ諸条約加入	1956	北朝鮮在住邦人引揚交渉 広島原爆病院完成
		1956	日ソ国交回復 日本政府国連加盟	1958	長崎原爆病院完成
		1957	宗谷、南極観測	1959	～67 在日朝鮮人の北朝鮮帰還援助
		1958	東京タワー完成	1963	連盟理事会で日赤提案の 「核兵器の使用、実験禁止決議」 可決
		1963	ケネディー暗殺		
		1964	東京オリンピック・パラリンピック	1965	第1回献血運動推進全国大会
		1965	日韓基本条約調印 ベトナム戦争激化	1966	学校法人日本赤十字学園設立
		1966	中国文化大革命		
		1969	中教審「期待される人間像」発表		
		1970	人類が初めて月に到達(米国)	1970	東南アジア太平洋地域 青少年赤十字国際セミナー 「こんには'70」開催
			大阪で日本万国博覧会	1971	日赤青少年課 橋本祐子、第2回 アンリー・デュナン記章受賞 赤十字青年会議(メキシコ) 在日朝鮮人北朝鮮帰還援助再開

国際赤十字のあゆみ		世界と日本の動き		日本赤十字社のあゆみ	
1977	ジュネーブ条約追加議定書採択	1972	沖縄復帰、日中国交回復	1975	～95 ベトナム難民援護事業
		1973	オイルショック		
		1975	ベトナム戦争終結 インドシナ難民の大量流出始まる 沖縄海洋博覧会		
1988	赤十字誕生 125周年記念 キャンペーン実施	1978	日中平和友好条約調印	1977	日本赤十字社、 創立100周年記念式典、 本社社屋新築
		1980	～88 イラン・イラク戦争		
		1984	アフリカの飢餓拡大 臨時教育審議会設置		
1991	赤十字・赤新月社連盟が 国際赤十字・赤新月社連盟に改称	1986	チェルノブイリ原発事故	1983	奉仕団創設・青少年赤十字再建 35周年記念大会
		1989	ベルリンの壁崩壊 天安門事件 平成と改元		
		1990	東西ドイツ統一		
1994	国際赤十字・赤新月社連盟 創設75周年	1991	湾岸戦争、ソ連崩壊	1985	群馬県御巢鷹山の 日航機墜落事故救護班派遣
		1992	カンボジアPKO派遣		
		1999	赤十字・赤新月社連盟が 国際赤十字・赤新月社連盟に改称		
1999	ジュネーブ四条約成立五十周年	1995	阪神・淡路大震災	1988	奉仕団創設・青少年赤十字再建 40周年記念全国大会
		1997	ベルー大使公邸占拠事件		
		1998	長野冬季オリンピック		
2005	ジュネーブ諸条約第3追加議定書 採択	2001	米国同時多発テロ事件	1991	「こんには'91」開催
		2003	イラク戦争		
		2004	日本政府、ジュネーブ諸条約 第一・第二追加議定書加入 スマトラ島沖地震・津波		
2009	赤十字思想誕生150周年 国際赤十字・赤新月社連盟 設立90周年	2007	能登半島地震 新潟県中越沖地震	1993	青少年赤十字・赤十字奉仕団 全国交流集会「はじめの一步」 開催 北海道南西沖地域災害救護
		2008	岩手・宮城内陸地震 ミャンマー・サイクロン 中国大地震		
		2010	ハイチ大地震 チリ大地震		
2011	東日本大震災 シリア人道危機	2011	東日本大震災 シリア人道危機	1995	阪神・淡路大震災救護 ペルー日本大使公邸人質事件 救護班派遣・活動
		2016	熊本地震災害		
		2019	令和と改元		
2020	新型コロナウイルス感染症の 世界的流行	2020	新型コロナウイルス感染症の 世界的流行	1996	青少年赤十字・赤十字奉仕団 創設50周年 記念大会
		2021	東京夏季オリンピック		
		2022	ウクライナ人道危機		
2024	能登半島地震	2024	能登半島地震	1997	日本赤十字社、創立120周年 記念式典
		2015	ネパール地震救護		
		2016	熊本地震災害救護・復興支援		
2016	熊本地震災害救護・復興支援	2015	ネパール地震救護	1998	青少年赤十字創設75周年 赤十字奉仕団創設50周年 記念大会
		2016	熊本地震災害救護・復興支援		
		2018	西日本豪雨災害救護		
2019	台風第19号救護	2018	西日本豪雨災害救護	2000	三宅島噴火災害救護
		2019	台風第19号救護		
		2020	新型コロナウイルス感染症対応		
2020	新型コロナウイルス感染症対応	2020	新型コロナウイルス感染症対応	2001	インド大地震における初のERU (緊急対応ユニット)の導入
		2022	青少年赤十字100周年		
		2024	能登半島地震救護		

# 世界の赤十字社・赤新月社

No	国名	承認年	マーク	No	国名	承認年	マーク	No	国名	承認年	マーク
1	ベルギー	1864	+	33	タイ	1920	+	65	モナコ	1948	+
2	イタリア	1864	+	34	ロシア	1921	+	66	パキスタン	1948	☾
3	スウェーデン	1865	+	35	コスタリカ	1922	+	67	ヨルダン	1948	☾
4	ノルウェー	1865	+	36	コロンビア	1922	+	68	インドネシア	1950	+
5	スイス	1866	+	37	パラグアイ	1922	+	69	サンマリノ	1950	+
6	オーストリア	1867	+	38	エストニア	1922	+	70	スリランカ	1952	+
7	トルコ	1868	☾	39	ポリビア	1923	+	71	ドイツ	1952	+
8	オランダ	1868	+	40	ラトビア	1923	+	72	アフガニスタン	1954	☾
9	英国	1870	+	41	エクアドル	1923	+	73	大韓民国	1955	+
10	デンマーク	1876	+	42	アルバニア	1923	+	74	朝鮮民主主義人民共和国	1956	+
11	ルーマニア	1876	+	43	グアテマラ	1923	+	75	ラオス	1957	+
12	ギリシャ	1877	+	44	リトアニア	1923	+	76	チュニジア	1957	☾
13	ペルー	1880	+	45	エジプト	1924	☾	77	スーダン	1957	☾
14	アルゼンチン	1882	+	46	パナマ	1924	+	78	ベトナム	1957	+
15	ハンガリー	1882	+	47	イラン	1924	☾	79	モロッコ	1958	☾
16	米国	1882	+	48	アイスランド	1925	+	80	リビア	1958	☾
17	ブルガリア	1885	+	49	エルサルバドル	1925	+	81	ガーナ	1959	+
18	ポルトガル	1887	+	50	カナダ	1927	+	82	リベリア	1959	+
19	日本	1887	+	51	ドミニカ共和国	1927	+	83	モンゴル	1959	+
20	スペイン	1893	+	52	オーストラリア	1927	+	84	カンボジア	1960	+
21	ベネズエラ	1896	+	53	インド	1929	+	85	ナイジェリア	1961	+
22	ウルグアイ	1900	+	54	ニュージーランド	1932	+	86	トーゴ	1961	+
23	南アフリカ	1900	+	55	イラク	1934	☾	87	シエラレオネ	1962	+
24	フランス	1907	+	56	ハイチ	1935	+	88	ブルキナファソ	1962	+
25	チリ	1909	+	57	エチオピア	1935	+	89	コンゴ民主共和国	1963	+
26	キューバ	1909	+	58	ホンジュラス	1938	+	90	マレーシア	1963	☾
27	メキシコ	1912	+	59	ミャンマー	1939	+	91	アルジェリア	1963	☾
28	中国	1912	+	60	アイルランド	1939	+	92	カメルーン	1963	+
29	ブラジル	1912	+	61	リヒテンシュタイン	1945	+	93	コートジボワール	1963	+
30	ルクセンブルク	1914	+	62	シリア	1946	☾	94	サウジアラビア	1963	☾
31	ポーランド	1919	+	63	レバノン	1947	+	95	セネガル	1963	+
32	フィンランド	1920	+	64	フィリピン	1947	+	96	タンザニア	1963	+



No	国名	承認年	マーク	No	国名	承認年	マーク	No	国名	承認年	マーク
97	トリニダード・トバゴ	1963	+	129	ルワンダ	1982	+	161	アンドラ	1994	+
98	ブルンジ	1963	+	130	ジンバブエ	1983	+	162	赤道ギニア	1994	+
99	ベナン	1963	+	131	ベリーズ	1984	+	163	トルクメニスタン	1995	☾
100	マダガスカル	1963	+	132	サモア	1984	+	164	ウズベキスタン	1995	☾
101	ネパール	1964	+	133	バルバドス	1984	+	165	アルメニア	1995	+
102	ジャマイカ	1964	+	134	カーボベルデ	1985	+	166	アゼルバイジャン	1995	☾
103	ウガンダ	1965	+	135	サントメ・プリンシペ	1985	+	167	ベラルーシ	1995	+
104	ニジェール	1965	+	136	ギニアビサウ	1986	+	168	北マケドニア共和国	1995	+
105	ケニア	1966	+	137	アラブ首長国連邦	1986	☾	169	ブルネイ	1996	☾
106	ザンビア	1966	+	138	セントルシア	1986	+	170	キルギス共和国	1997	☾
107	マリ	1967	+	139	ギニア	1986	+	171	キリバス	1997	+
108	クウェート	1968	☾	140	アンゴラ	1986	+	172	パラオ	1997	+
109	ガイアナ	1968	+	141	スリナム	1986	+	173	タジキスタン	1997	☾
110	ソマリア	1969	☾	142	ジブチ	1986	☾	174	ジョージア	1997	+
111	ボツワナ	1970	+	143	グレナダ	1987	+	175	ガボン	1999	+
112	マラウイ	1970	+	144	チャド	1988	+	176	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2001	+
113	レソト	1971	+	145	モザンビーク	1988	+	177	モルドバ	2001	+
114	バーレーン	1972	☾	146	ドミニカ国	1989	+	178	クック諸島	2002	+
115	モーリタニア	1973	☾	147	セントビンセント及び グレナディーン諸島	1989	+	179	カザフスタン	2003	☾
116	シンガポール	1973	+	148	ソロモン諸島	1991	+	180	ミクロネシア	2003	+
117	バングラデシュ	1973	☾	149	セーシェル	1992	+	181	コモロ	2005	☾
118	フィジー	1973	+	150	セントクリストファー・ネイビス	1992	+	182	東ティモール	2005	+
119	中央アフリカ	1973	+	151	アンティグア・バーブーダ	1992	+	183	イスラエル	2006	◆
120	ガンビア	1974	+	152	ナミビア	1993	+	184	パレスチナ	2006	☾
121	コンゴ共和国	1976	+	153	スロバキア	1993	+	185	モンテネグロ	2006	+
122	パナマ	1976	+	154	チェコ	1993	+	186	モルディブ	2011	☾
123	パプアニューギニア	1977	+	155	スロベニア	1993	+	187	キプロス	2012	+
124	モーリシャス	1977	+	156	クロアチア	1993	+	188	南スーダン	2013	+
125	エスワティニ	1979	+	157	セルビア	1993	+	189	ツバル	2015	+
126	トンガ	1981	+	158	ウクライナ	1993	+	190	マーシャル諸島	2017	+
127	カタール	1981	☾	159	バヌアツ	1993	+	191	ブータン	2019	+
128	イエメン	1982	☾	160	マルタ	1993	+				

＋は赤十字社(156社) ☾は赤新月社(34社)(※) ◆はイスラエル・ダビデの赤盾社

※標章としての赤新月の向きについては、特に定めはない。それぞれの社が設立時に右向き又は左向きを定める。

# 使ってほしい青少年赤十字の資料・目録

## CD・ビデオ(VHS)・CD-ROM・DVD

題名	内容	時間	対象	制作年
国際赤十字	国際赤十字の歴史と発展、活動を描いた社会科資料ビデオ	23分	中学生以上・指導者	1997
ヘルプマンの大冒険	赤十字の基本原則をアニメーションで分かりやすく説明	14分	小学校低学年	1999
アンリー・デュナン物語	デュナンの生い立ちから赤十字の創設、晩年までを描いたビデオ紙芝居	15分	小学生以上	2000
国際人道法入門	国際人道法の基礎を紹介	23分	赤十字関係者	2003
The story of an idea (ひとりのアイデアから始まった赤十字)	アンリー・デュナンが赤十字を誕生させるきっかけや国際赤十字について紹介した英語のアニメ(日本語字幕)	4分	中学生以上・指導者	2004
Our world, our challenges	国際赤十字が直面する世界各地の問題や赤十字の活動を映像と音楽で紹介	4分	中学生以上・指導者	2007
人道法の探究 紹介ビデオ・生徒向けビデオ	「人道法の探究」プログラムの紹介ビデオと指導に使う生徒向けビデオが収められたDVD(日本語吹替版)	61分	中学生以上・指導者	2010
赤十字この一年	各年の日本赤十字社の活動を紹介	13分	小学校高学年以上	毎年
青少年赤十字の歌	「空は世界へ」、「青少年赤十字の歌」など18曲を収録したCD	45分	小学生以上	2000
青少年赤十字の世界 (CD-ROM)	アンリー・デュナンや国際赤十字、青少年赤十字について解説(ヘルプマンの大冒険を含む)		小学校高学年以上	2001
生きる力と思いやりを 育て	指導者、保護者を対象に、赤十字の理念や青少年赤十字の目標、具体的な活動を新しい情報とともに紹介	22分	指導者	2007
阪神・淡路大震災 赤十字救護活動の記録	1995年1月に発生した同災害における日赤の活動を紹介	30分	中学生以上・指導者	1995
一人ひとりの命のために	新潟県中越地震とスマトラ島沖地震・津波災害の活動を紹介したDVD	20分	一般	2005
能登半島地震災害救護活動	2007年3月に発生した同災害における日赤の活動を紹介	12分	中学生以上・指導者	2007
東日本大震災 被災地での40日間	2011年3月に発生した同災害における日赤の救護活動、支援事業の紹介	14分	一般	2011
東日本大震災 復興への歩み	2011年3月に発生した同災害における日赤の支援事業の紹介(発災から半年後)	13分	一般	2011
赤十字は被災者の近くに	2011年3月に発生した同災害における日赤の発災直後の救護活動の紹介	14分	一般	2011
東日本大震災から1年 ～被災者と共に希望を～	2011年3月に発生した同災害における日赤の支援事業の紹介(発災から1年後)	7分	一般	2012
福島 二回目の夏 ～未来を担う子どもと共に～	東日本大震災から1年半、福島県を中心に実施している原子力事故被災者支援事業の紹介	7分	一般	2012
赤十字とは何か その教育の原点を問う	東日本大震災での赤十字看護学生の救護活動をもとに、赤十字の教育・理念を紹介	23分	中学生以上・指導者	2012
明日を信じて～日本赤十字社スマトラ島沖地震・津波災害復興支援5年間の軌跡～	2004年12月に発生したスマトラ島沖地震・津波災害に対する日赤の5年間の支援の記録	7分	中学生以上・指導者	2009

題 名	内 容	時間	対 象	制作年
ミャンマー・サイクロン 中国大地震～緊急 救援から復興支援へ～	2008年5月、相次いで発生したミャンマー・サイクロン、中国大地震の記録	9分	中学生以上・指導者	2009
ハイチ大地震救援活動： 国際赤十字の一員として	2010年1月にハイチで発生した大地震に対する発生直後からの救援の記録	5分	中学生以上・指導者	2010
ハイチ大地震から1年 ー被災地は今ー	2010年1月にハイチで発生した大地震に対する救援・復興支援の記録	11分 ／30分	中学生以上・指導者	2011
献血“声”は届いているか、 “こころ”は届いているか？	血液事業の概要と献血ボランティア活動を紹介	28分	中学生以上・指導者	2000
おしえてけんけつちゃん	小学生を対象にした献血教材用DVDビデオ	10分	小学生以上	2007
人は、人のチカラにな れる	献血による輸血で健康を回復した少女の実話などを紹介したDVD	12分	小学生以上・指導者	2009
八月の二重奏	献血推進映画。急性白血病の妹とそれを支える家族の5年間の闘病と、その後イーハトーブ学生奉仕団を立ち上げた姉の物語	45分	小学生以上・指導者	2010
ダブルスカイ!	献血推進映画。将来を期待されていたハンドボール選手が、ある日突然急性リンパ性白血病の宣告を受け、試練を乗り越えるため命の限り戦い抜いた実話。	48分	小学生以上・指導者	2011

## 刊行資料(青少年赤十字関係資料)

書 名	対 象	制作年
赤十字の父 アンリー・デュナン	小学生以上	適宜改訂
赤十字をつくった人 アンリー・デュナン	小学生以上	2011
青少年赤十字ハンドブック※	小・中・高メンバー	適宜改訂
青少年赤十字指導者用手引き※	指導者	適宜改訂
WHY don't you try?(青少年赤十字国際交流ガイドブック)※	指導者	2008
あなたの心を表現しよう!	小学生以上	2008
青少年赤十字トレーニングセンター・ガイドブック※	小・中・高メンバー、指導者	適宜改訂
気づき・考え・実行する児童・生徒を育てるために 青少年赤十字活動実践事例集	指導者	2004
青少年赤十字機関紙	小・中・高メンバー	毎年1回
青少年赤十字指導情報	指導者	毎年1回
せきじゅうじて、なんだろう?※	小学生	2012
世界で生きるこどもたち※	小・中・高メンバー、指導者	2008
青少年赤十字モデル校報告集(平成24年度版)	指導者	2012
まもるいのち ひろめるぼうさい	小・中・高メンバー、指導者	2015
ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!	幼稚園・保育所、指導者	2018
青少年赤十字のひみつ	小学生以上	2023

刊行資料(赤十字全般に関する資料)

書名	対象	制作年
赤十字のしくみと活動	指導者・一般	毎年
赤十字の国際活動	(高校生、指導者)、一般	隔年
知っていますか?このマークの本当の意味(赤十字標章パンフレット)※	小学生以上	2011
赤十字の諸原則(ジャン・ピクテ著)※	指導者	2002
赤十字条約集※	指導者	2005
ソルフェリーノの思い出※	高校生・指導者	2011
国際人道法の発展と諸原則※	指導者	2000
国際人道法～あなたの質問にお答えします～	中学生以上・指導者	2001
児童・生徒のための国際人道法ワークブック※	小学生以上	2007
人道法の探究 人道法教育のための指導者手引き※	指導者	2010
人道的価値観をはぐくむ国際人道法学習プログラム 誰もが人間らしく生きるために	指導者	2013
赤十字と国際人道法～普及のためのガイドブック～※	高校生以上・指導者	2023
赤十字ボランティアブックレット	高校生以上・指導者	2019
赤十字奉仕団活動事例集ー地域赤十字奉仕団ー(平成20年度)	一般	2009
赤十字奉仕団モデル活動報告集 ー平成20～22年度指定ー	一般	2012
赤十字ボランティア広報リーフレット RCV	一般	毎年
ボランティア通信	一般	2012
安全で楽しい水泳・水遊び	一般	2012
知っておきたい こどもの看病 手当のしかた※	一般	2012
災害時のこころのケア※	一般	2013
ボランティアとこころのケア※	一般	2009
災害が起こったときに※	一般	2012
知っていれば安心ですー心肺蘇生とAEDー※	一般	2012
救急法の基礎知識～備えあれば安心～※	一般	2012
幼児安全法講習教本※	一般	2012
救急法講習教本※	一般	2012
救急法基礎講習教本※	一般	2012
水上安全法講習教本※	一般	2012
雪上安全法講習教本※	一般	2007
健康生活支援講習※	一般	2012

書名	対象	制作年
赤十字病院の活動と特色 ご存じですか?赤十字病院の5つの顔	一般	2010
赤十字病院の活動と特色	一般	2010
国際協力を知る本(4冊)	小学校高学年以上	1999
世界災害報告	高校生以上、指導者、一般	毎年
Children and War	中学生以上、指導者、一般	1998
赤十字シンポジウム報告書	関係者・一般	毎年
世界の赤十字社、赤新月社	赤十字関係者・(一般)	2003
Review of Activities(日本赤十字社の英文ガイドブック)	外国向け	隔年
紛争時の各国赤十字・赤新月社の役割に関するガイドライン	赤十字関係者・(一般)	2003
愛のかたち献血 けんけつを知ってもらうBOOK	小学生・中学生	毎年
愛のかたち献血	一般	毎年

これらの資料のご利用については、日本赤十字社各都道府県支部または本社へお問い合わせ下さい。また※は(株)日赤サービスにて購入可能です。(Tel. 03-3437-7515)



# 本社・支部所在地一覧

Junior Red Cross

本社・支部			
施設名	所在地		TEL
本社	105-8521	東京都港区芝大門1-1-3	03 (3438) 1311
北海道支部	060-0001	北海道札幌市中央区北1条西5	011 (231) 7126
青森県支部	030-0861	青森県青森市長島1-3-1	017 (722) 2011
岩手県支部	020-0831	岩手県盛岡市三本柳6地割1-10	019 (638) 3610
宮城県支部	981-3117	宮城県仙台市泉区市名坂字石止44番7	022(725) 7520
秋田県支部	010-0922	秋田県秋田市旭北栄町1-5 県社会福祉会館	018 (864) 2731
山形県支部	990-0023	山形県山形市松波1-18-10	023 (641) 1353
福島県支部	960-1197	福島県福島市永井川字北原田17	024 (545) 7997
茨城県支部	310-0914	茨城県水戸市小吹町2551	029 (241) 4516
栃木県支部	320-8508	栃木県宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内	028 (622) 4326
群馬県支部	371-0833	群馬県前橋市光が丘町32-10	027 (254) 3636
埼玉県支部	330-0064	埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1	048 (789) 7117
千葉県支部	260-8509	千葉県千葉市中央区千葉港5-7	043 (241) 7531
東京都支部	169-8540	東京都新宿区大久保1-2-15	03 (5273) 6741
神奈川県支部	231-8536	神奈川県横浜市中区山下町70-7	045 (681) 2123
新潟県支部	951-8127	新潟県新潟市中央区関屋下川原町1-3-12	025 (231) 3121
富山県支部	930-0821	富山県富山市飯野26-1	076 (451) 7878
石川県支部	920-8201	石川県金沢市鞍月東2-48	076 (239) 3880
福井県支部	918-8011	福井県福井市月見2-4-1	0776 (36) 3640
山梨県支部	400-0062	山梨県甲府市池田1-6-1	055 (251) 6711
長野県支部	380-0836	長野県長野市南県町1074	026 (226) 2073
岐阜県支部	500-8601	岐阜県岐阜市茜部中島2-9	058 (272) 3561
静岡県支部	420-0853	静岡県静岡市葵区追手町44-17	054 (252) 8131
愛知県支部	461-8561	愛知県名古屋市中区白壁1-50	052 (971) 1591
三重県支部	514-0004	三重県津市栄町1-891	059 (227) 4145
滋賀県支部	520-0044	滋賀県大津市京町4-3-38	077 (522) 6758
京都府支部	602-8044	京都府京都市上京区下立売通油小路西入東橋詰町178番地	075 (468) 1182
大阪府支部	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前2-1-7	06 (6943) 0705
兵庫県支部	651-0073	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5	078 (241) 9889
奈良県支部	630-8133	奈良県奈良市大安寺1-23-2	0742 (61) 5666
和歌山県支部	640-8137	和歌山県和歌山市吹上2-1-22	073 (422) 7141
鳥取県支部	680-0011	鳥取県鳥取市東町1-271 県庁第二庁舎	0857 (22) 4466
島根県支部	690-0873	島根県松江市内中原町40	0852 (21) 4237
岡山県支部	700-0823	岡山県岡山市北区丸の内2-7-20	086 (221) 9595
広島県支部	730-0052	広島県広島市中区千田町2-5-64	082 (241) 8811
山口県支部	753-0094	山口県山口市野田172-5	083 (922) 0102
徳島県支部	770-0044	徳島県徳島市庄町3-12-1	088 (631) 6000
香川県支部	760-0017	香川県高松市番町1-10-35 香川県社会福祉総合センター内	087 (861) 4618
愛媛県支部	790-0854	愛媛県松山市岩崎町2丁目3-40	089 (921) 8603
高知県支部	780-0850	高知県高知市丸ノ内1-7-45 総合あんしんセンター1階	088 (872) 6295
福岡県支部	815-8503	福岡県福岡市南区大楠3-1-1	092 (523) 1171
佐賀県支部	840-0843	佐賀県佐賀市川原町2-45	0952 (25) 3108
長崎県支部	852-8104	長崎県長崎市茂里町3-15	095 (846) 0680
熊本県支部	861-8039	熊本県熊本市長嶺南2-1-1	096 (384) 2100
大分県支部	870-0033	大分県大分市千代町2-3-31	097 (534) 2236
宮崎県支部	880-0802	宮崎県宮崎市別府町3-1	0985 (22) 4045
鹿児島県支部	890-0064	鹿児島県鹿児島市鴨池新町1-5	099 (252) 0600
沖縄県支部	902-0076	沖縄県那覇市与儀1-3-1 複合管理棟5階	098 (835) 1177

## 青少年赤十字ハンドブック中学生

平成6年6月30日 初版発行

令和6年8月1日 16版発行

編集者 日本赤十字社 事業局 パートナースHIP推進部  
ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課

〒105-8521 東京都港区芝大門1丁目1番3号

電話 03-3437-7083(ダイヤルイン)

FAX 03-3432-5507

ホームページ <https://www.jrc.or.jp>

発行所 株式会社日赤サービス

